

# 傑作

ジェファソンビル インディアナ州 アメリカ合衆国

1964年07月05日

1 頭を垂れて祈りましょう。私たちの頭と心は神の御前に拝していますが、私はここで、神に覚えておいてほしいと願っている人がどれだけいるのかと思っていますが手を挙げて下さいますか?さて、私たちが祈っている今、あなたの要求をあなたの心に留めてください。

2 主イエス様、命の尽きることのない泉、主よ、今日私たちを貫いて流れ、すべての不信仰とすべての罪から私たちを清めて下さい。私たちは罪人であり、祝福に値するものではないことは分かっています、あなたのご臨在の中に立つことも我々の中には必要があります。しかし、我々の罪を取るために来て下さった主の事を考える時!そして、彼(イエス様)の血がそこにあるとき、それは私達ではないのです、それは神の臨在でそれこそ主なのです。それは彼の血を通す我々の声にすぎません。彼の血は語っています。おお神様、私たちの心を罪と不信仰から清めて下さい。

私たちに心の願いを与えてください。私たちは本当にあなたに仕えるというこの願いを持っているからです。これらの弱体化した状況や苦しみ、そして時々私たちに課されている世のことによって、そうなることと語られたように我々を完璧にしてするために。それから彼は言われました、「あなたがたを試みるために降りかかって来る火のような試練を、何か思いがけないことが起ったかのように驚きあやしむことなく、」それらは、我々を完全にするために働き、我々のいるべき場所に連れて行ってくれる。義人が聖人に形作られるこれらの素晴らしい砂漠の経験、私たちはこれらの経験を主に感謝します。私たちは決して御心に反して何かをしたいとは思いません。しかし、天のお父様、これにより我々がもっとあなたに近くなるように祈ります。

そして、重荷があまりにも重いとき、私たちがそれ以上行くことができないとき、私たちは手を挙げて、そして我々の天の父に向かって叫びます。主よ、天国から聞いてください。

神の国のために、私たちが癒し、元気になるようにしてください。

今朝、あなたの御言葉で祝福してください、主よ。あなたの御言葉は真理なのです。

3 そして、私たちは今この教会に集まっています。ネヴィル兄弟、キャプス兄弟、コリンズ兄弟、その他のすべてのミニスター達、そしてトラスティーたち、執事、信徒、見知らぬ人たち、全て我々の門の中に居る人たちのために祈ります。あなたの臨在のおかげで、今日が私たち長い間覚えている日となりますように。

主よ、今朝私たちは大きな期待の下にいます。ただ一瞬で気が付いて、ともに呼ばれた。私たちはそれがある目的のためだと感じています。主よ、あなたの目的が達成されますように。私たち自身を服従する事を、イエスの御名によってそれを尋ねるからです。アーメン。

4 ここにいて、この教会が人でいっぱいになることは素晴らしいことです。私は今朝ここに誰かが来るとはあまり期待していませんでした、と言うのは、自分自身何も知らなかったのと、ここに来ることも知らなかったからです。

我々はちょうどフィラデルフィアから入ったところです。だから、私はすぐにアリゾナに行かなければならないと思って入ってきました。私の友人である非常に尊いキャプテンジム・モーズリーのために葬儀をするためです。神を信じている方で、私がそれほど前ではなかったのですが、キリストに導いたのです、3人のモーズリー兄弟達。そして、そのうちの一人が転んで、先日飛行機の中において、即座に死んでしまったのです。彼らが彼にたどり着く前に彼は10時間火の中に横たわっていました。さて、リーは28歳、彼の妻は26歳、そして3人の小さな子供を残しています。最年長の子はまだ7歳です。とても悲しいです。そして彼らは…彼らが彼を入れたとき、翌日彼を埋葬しなければならませんでした。だから私はただ…私は行くことはありませんでした。そして私は、私が言おうとしていることや、モーズリー兄弟の葬式で言ったことを書いたり、電報で送ったりしました。これらのいくつかの事は私たちには理解できませんが、それでも彼はすべてをちょうどよくされるのです。

5 私たちはここで主に仕えています。今朝、私たちは神を信じ、神がすべてを正しくされる事を信じ知っています。それが何であり、どのようになるかに関係なく、私たちはそれが「ともに働いて益となる」ことを知っています。彼はそれを約束しました。それはそのようではなければならなかったのです。時にはそれを理解できず、時々非常に複雑になりますが、それでも真理であることがわかっています。なぜなら聖書はそれが真理だと語っているからです。そして聖書は、私たちにとって、文字の形の神なのです。

さて、私たちは信仰をどこかに置く必要があります。そして、もし私や私たちの誰かが、人生で成功を取

めようとして、何度も大富豪になったとしたら、それをどうすると言うのでしょうか。私たちは道の終わりまで降りなければなりません、そしてそれで私たちにとってその何が良い事となるのでしょうか？分かりますか？そして、お金は交換証書です、それは交換する者ですが、命と交換することはできません。神のみが命を持っておられるのです。

6 ですから、私たちはここに否定的な形でいることを理解しています。そして、ネガティブがある限り、ポジティブがなければならぬわけです。ポジティブなしではネガティブはあり得ません。なぜなら、それはネガティブを作るのがポジティブだからです。あなたが何かに関して否定的な絵を持っているように。物体がどこかにあり、光がそのレンズに当たる必要があります。そうでない場合には、ネガティブはありません。ですから、私たちの人生がネガティブであることに気づき、どこかに生きているイメージがあることに気づくと、光が当たった場所にポジティブがあり、それが地球上の何かを反映していることがわかります。そして、私たちはその反射だけなのです。本物の物体はどこかにあります。そうでない場合、私は世界で最悪に欺かれた人になるのです。私は人生を無駄に費やしたことに。しかし、私は疑いの余地を超えて、それがそこにあることを知っています。分かりますか？それが私たちがここに居る理由です。分かりますか？

7 人々が国中を行き来するのを見ると、ほんの少しの瞬間に、そしていつかそれを推測して、このように私がこのような集会に来るとき、私は本当に小さきものであると感じさせられます。私がここに居る人々が数分の礼拝のためにここに座るだけのために何百マイルも旅したことを知っていてそのことを思っています。

ある女性が発言し、先日来て、「その人が歩いたところを見せて下さい、彼の歩いたところを追いかけて歩かせてください」「私は元気になります。」と言いましたさて、人々はあなたがそのようであると信じています、そしてあなたはキリストの代表です、そして私達は何をすべきでしょうか？私たちは非常に注意する必要があります。あなたが間違っただけでなく、あなたをフォローしている他の人たちも破壊しているからです。

だから、私は宗派も知らないし、あなたを連れて行くものも何もないのです。私が信じていることは一つだけです。あなたが私を信じているなら、私があなたに言うことに従ってください。なぜなら私は聖書を信じています、それは神のことばです。他のことは失敗します。私はただ…彼こそが命なのです。彼こそがみことばです。

8 さて、私はあなたが…私がここに来るとき、あなた方と長い時間一緒に居る事になっています。今日ここに来たいと思った時、私は神に祈りました。私はインタビューや電話などをたくさん受けました。私は今朝それらのいくつかに会わなければならぬでした。そして私は言いました、「まあ、ネヴィル兄弟は間違いなく私に話すことを頼むだろう。」それは金曜日でした。そして私は言いました、「ネヴィル兄弟はおそらく私に話すように頼むでしょう。そして私がするとき、私は祈ります、神様…」とても暑くて、こここのところずっと暑いのです。そして、主は良い方で、私たちに雨を送り、本当の極度の暑さを断ち切り、今朝良い朝を下さいました。彼の善があなた方一人一人にシャワーを浴びることを祈ります。あなた方が今朝ここにいたことを思い出してください。彼の恵みと祝福がありますように！

9 昨夜、病気の友人である、ビル・ドーク兄弟を訪ねました。今朝、彼はここにはいないようです。どういうわけか、私は見ていません。ああ、彼はここにいます。彼は…はい。そして私は考えていました。「91歳の老人でありながら、国中、砂漠、そして雪に覆われた山々と滑らかな道路を飛び越えて動いています。彼はそうしなければならないわけではないのです。神は彼に良くしてくださいました。彼はそうする必要はありません。彼は家に座って、もし望めば、召使いが彼に扇子で仰いでくれることさえできるのです。」しかし、ビル・ドーフに何かが起こりました、彼は主に会って再び生まれ変わったのです。そしてそれが起こった時、彼の人生のすべてがこれらの礼拝に出席することでそれだけが彼の心に来たのでした。そして、もし私が神の傑作になるなら、私は友達を欺くでしょうか？私はむしろ死にたいです。そして私にこの聖書の真理について確実に彼に告げさせてください。それが神の言葉です。私は彼(イエス)が言われたことをただ繰り返しているだけなのです。

さて、私は聖書からいくつかを読みたいのです。

10 読む前に、今晚はコミュニオンの夜だと信じています。そして、あなたは地元にいるあなた…もちろん、他の人々はおそらく彼らの家に帰るでしょう。なぜなら彼らは仕事に行かなければならぬからです。この集会で地元にいるあなたたち、覚えておいてください、今夜兄弟たちはコミュニオンをします。

11 今、私はアフリカへの最後の呼びかけを待っています。彼らは私を宣教師として受け入れません。だか

ら私が入る唯一の方法はケニア、ウガンダ、そしてタンガニーカ(現在のタンザニアの一地域名)に行きます。そして、私が行ける唯一の方法は…まず、教会はあなたを中に入れてません。なぜなら、彼らは私にアフリカでこの側とその側の何かについて説教をして欲しいからです。そして、私はそのようには行きません。私はそれをするほど偽善者ではないでしょう。それで私は彼らに言います、「いいえ、私は神が私の心に置かれたものだけを説教します、そしてそれだけなのです。」分かりますか?そして、それは彼らが私に教えさせようとしているものではないと確信しています。ですから、三位一体のバプテスマなどなどについて、大騒ぎします。いいえ!

12 しかし、私はボーズ兄弟から大きな大会に招待されました。彼は私たちが信じていることのある陽光を見るために来る準備をしている最中です。そして、私は狩猟旅行に行くように入るよう頼みました。もし彼らが私を中に入れたら、狩りに行くような…そこに行った時に誰か私を狩りに連れて行ってくれる人が居るとするならば、大使館勤めの医師でシカゴの郊外に居る個人的な私の友人です。そして私がそこに入るとすぐに、彼は言いました。「さて、ここにブラナム兄弟がおられます。集会をしましょう」と。だから、私がそこに着いた後、大使館は断ることはできません。もし彼らが…だから彼らは今それをうまくやろうとしているのです。だから私は信じています…もしそれが神の御心ならば、それはうまくいきます。分かりますか?それは、神に献身しているだけです。そうでない場合は、皆さんにお知らせします。私はしません…

13 もしそれが神の御心であれば、七つのラツパについてお話したいと思います。そしてそれは約8日間の礼拝であり、そしておそらく私たちはこのタバナクルに来ることはないでしょう。ここで講堂を借りて使おうとしています。

さて、考えたことも無かったのですが、ここに建てられたばかりのこの新しい講堂が私が全く初めてイエス様を幻で見た所でした。今では同じ場所に建てられた講堂です。先日、すぐそこにそれを見るために行きました。私は主が東に向かって見ているのを見たとき、私がそれを言っているのを聞いたことを覚えています。私は父のために祈っていましたが—小さな男の子、ただの男の子の説教者。そこが私は彼を見た場所です。一步、彼を見て、彼は私から彼の頭を横に向きました。私は歩き続けメルケンカルの畑で、喉をすっきりさせました。そして私は見続けていました、そして彼は決して振り向きませんでした。それから私は彼の名前を「イエス」と呼びました。そして彼は振り向いて彼の腕を伸ばしました、そしてそれが昼光まで覚えていたすべてです。そして、私は日光に向かって、畑から出て戻りました。

ですから、多分主は私にそこでそのラツパについて説教させてくださるでしょう。どこにいても神の御心がなされるのです。

14 ご自身の聖書を開いてください、イザヤ書第50、イザヤ書の第53章。

今、今朝の我々が集まる小さな努力を祝福して下さる事を信じています。私たちはフィラデルフィアからやってきました。そこで私はフルゴスベルビジネスメンズコンベンションに参加し、そこでさまざまな証(テストimoni)などを聞いていました。

それから私は、道を下って、私は…ビリー・ポールと私、そしてリベカと小さなコリンズちゃんと、小さなベティ・コリンズ。そして、ビリーは非常に良く眠る子で、ベッキーはより良いので、私は…ベティと私は話しました。そして彼女は後部座席でベッキーと共に戻って座っていました。そして、私は道で何かを見ました、そこで起こったのです。そして、私が気が付いたとき、何か私に刺さってきました。そしてベティ、彼女がここにいるなら、彼女は私が話をやめたことに気づいたのです、そして何かを書き始めました。それが今朝のために私がこのテキストを受け取った場所です。

15 さあ、立ち上がりましょう。もし私たちが…今、私たちは神の言葉に敬意を表して立っています。私は第53章のイザヤを読みます。

だれがわれわれの聞いたことを信じ得たか。主の腕は、だれにあらわされたか。(イザヤ記 53章1節:口語訳参照)

まず、質問で始められていますね、注目してください。

彼は主の前に若木のように、かわいた土から出る根のように育った。彼にはわれわれの見るべき姿がなく、威厳もなく、われわれの慕うべき美しさもない。

彼は侮られて人に捨てられ、悲しみの人で、病を知っていた。また顔をおおって忌みきらわ

れる者のように、彼は侮られた。われわれも彼を尊ばなかった。

まことに彼はわれわれの病を負い、われわれの悲しみをになった。しかるに、われわれは思った、彼は打たれ、神にたたかれ、苦しめられたのだと。

しかし彼はわれわれのとがのために傷つけられ、われわれの不義のために砕かれたのだ。彼はみずから懲らしめをうけて、われわれに平安を与え、その打たれた傷によって、われわれはいやされたのだ。

われわれはみな羊のように迷って、おのおの自分の道に向かって行った。主はわれわれすべての者の不義を、彼の上におかれた。

彼はしえたげられ、苦しめられたけれども、口を開かなかった。ほふり場にひかれて行く小羊のように、また毛を切る者の前に黙っている羊のように、口を開かなかった。

彼は暴虐なさばきによって獄から取り去られた。その代の人のうち、だれが思ったであろうか、彼はわが民のとがのために打たれて、生けるものの地から断たれたのだと。

彼は暴虐を行わず、その口には偽りがなかったけれども、その墓は悪しき者と共に設けられ、その塚は悪をなす者と共にあった。

しかも彼を砕くことは主のみ旨であり、主は彼を悩まされた。彼が自分を、とがの供え物となすとき、その子孫を見ることができ、その命をながくすることができる。かつ主のみ旨が彼の手によって栄える。

彼は自分の魂の苦しみにより光を見て満足する。義なるわがしもべはその知識によって、多くの人を義とし、また彼らの不義を負う

それゆえ、わたしは彼に大いなる者と共に物を分ち取らせる。彼は強い者と共に獲物を分ち取る。これは彼が死にいたるまで、自分の魂をそそぎだし、とがある者と共に数えられたからである。しかも彼は多くの人の罪を負い、とがある者のためにとりなしをした。

16 父なる神よ、あなたの御言葉は灯です、私たちの手にある灯籠のように、すべての信者の神の臨在への道を照らす光です。私たちが初めから終わりまでを見るのに十分なものをあなたは供給されていませんでしたが、私は信仰を持って歩きます。しかし、人が夜に暗い森を旅するように、そしてそれが私たちがいる場所です。彼が持っている光は、一步一步で供給されるのです。しかし、その道は上向きに導いてはいます、ただ光とともに歩みます。そして、光が今日の御ことばを照らし、私たちを神の御国へと一歩先へと導いてくださいますように。イエスの御名によってお願いします。アーメン。

座ってください。

17 今日私が会衆に話したいと思っている主題は、傑作です。

聖書の最も傷ついた殺人的な写真の一つを、このような聖書の朗読から取るのは、奇妙に思えるかもしれませんが、それは、聖書が言っているように「今完璧な僕は、病を負い、傷つけられ、裂かれた」と、それでも、そのテキストを傑作として取るのです。非常に奇妙です。しかし、私は…

今朝、ここに戻ってくる時に考えていた私の思いは、数年にわたって考えて来ています。私はカリフォルニア州ロサンゼルス市の森の芝生に招待されました。私がそこに行った最初の目的は、フォースタン伝道教会の創設者であるエイミー・サンプル・マクファーソンの墓を訪れることでした。そして私は彼女の墓に行きました。私はその女性とは違いますが、ミニスターとして、しかし心の中で、私は彼女が立っていたもの、その時、そして彼女が地上に居る間に受けなければならなかった迫害と通らなければならなかった苦難に関して賞賛と敬意を表します。そして彼女にとって、彼女の最愛の息子、それは私の親友である、ロルフ・マクファーソンです。

18 そして、ミニスター達のグループで、私たちはそこに行きました。そして、彼ら...私達には火葬場がある場所に行って、遺体を壁の横にある小さな箱に入れる時間はありませんでした。

そしてそこには、最後の晩餐のようないくつかの傑出したものがあります。そして、それは実際の太陽の光によって照らされています。そして、彼らはそれらのためのシャッターがあります…彼らが入るとき、光があ

ります。それから、彼らが話し始めると、それは暗くなります。そしてしばらくすると、すべてが暗くなり、人々は外に出ます。そして彼らはすべての晚餐を持っています。

19 そして、このガラスをこの場所に打ち込む方法の秘密を保持した女性は、なぜ、これらの写真を作るのか、なぜ、それを—それは何年も前からある家族を通してやって来ました。そしてその芸術はただその子供たちに与えられました、そしてその最後が女性でした。そして彼らはこの絵を修正していました。そして、彼らがイスカリオテのユダのガラスを作り上げて焼いたとき、それは破裂しました。それで彼らは再び試みましたが、そしてそれは再び破滅しました。そして彼女は言いました、「たぶん私たちの主は彼のそばに彼の敵の絵が来るのを望んでいないのです。」とそして、「それが再び破裂するならば、我々は絵を完成しないでしょう。」ともしかし、それはその時は保たれたのでした。その時、もちろん、それは驚くべきことでした、そしてそのようなことがどのように起こるか。

20 しかし、それから、フォレストローンメモリアルパークで私が興味を持つ主なものの1つは、ミケランジェロの偉大な彫刻であるモーゼ像でした。もちろんそれは複製です。オリジナルではありませんが、素晴らしい傑作でした。そして、私が立ってそれを見たとき、私はそれが好きでした。それは何か彼のした何かを得ているように見えました。

私は芸術が本当に好きです。私は神が芸術の中にいると信じています。私は神が音楽の中にいると信じています。私は神が自然の中にいると信じています。神は至る所にいます。そして、オリジナルに反するものは何でも倒錯です。神は踊っています。ここで踊るようなものではありません。しかし、神の息子と娘が神の霊の中に居ると、踊りになるのです。しかし、今朝2時まで、車線の向こう側で戦わなければならなかったように、それは倒錯なのです。

21 しかし、これと、ミケランジェロの傑作は、彼がそれをするのに何らかの対価がかかりました。彼は偉大な人でした、そして彼は多くの、何年もかけてそれを彫りましたので、彼の人生の大部分を費やしました。ただ、岩と大理石を取り、その彫刻を続けていたのです。そして、彫刻家自身であるその人だけが、彼が何をしようとしているのかを頭の中に持っていたのです、分かりますね。彼は彼なのです。あなたは歩いて行って彼に「あなたは何のためにその岩をつづいているのですか?」と言うかもしれません。心の中に何かあるのかわからない部外者にとって、それはナンセンスなのです。しかし、彫刻家自身である彼にとって、彼は心の中にビジョンを持っています。彼は彼が作ろうとしている者、そして彼は彼の心に持っているもの像の形で再現しようとしていたわけです。それが彼が岩からそれを掘っている理由なのです。

22 そして、これを行うには、最初から正しく始める必要があります、パターンに従う必要があるのです。分かりますか?始めるにわたって、小さなものを得る事は出来ません「私たちはこのようにしていきます。いいえ、私は信じています…」いいえ、彼は正確なパターンを持っているはずなのです。そして彼の心の中で彼はそのパターンを持っていたのです。そして彼はそのパターンから離れて別の事をする事はできません。さて、これをするために、彼は彼の思いの中に描きこみをしなければなりません、なぜなら私達にはモーゼの本物の絵がないからです。しかし彼の思いの中にモーゼが正確にどうだったかについてのはっきりした思いの絵があったに違いありません。

23 さて、本物の彫刻家は、本物の詩人、あるいは本物の歌手、ミュージシャンのように、それが何であれ、靈感を受けています。すべての本物は靈感によってもたらされなければなりません。ミケランジェロは、モーゼが実際にどのように見えたかに触発されたに違いありません。そして彼はそれを彼の思いの中にとらえました、モーゼはそうであつたに違いありません。それで、彼はこの大理石の大きなものに向かって進みました。彼は、彼の思いの中にあるはずの本物の姿にたどり着くまで、岩を切り取り、降ろし、磨き上げました。

24 そして、彼がそれをすべて完璧にしたとき、あらゆる角を切り、あらゆる場所をこすり、そして目を正しく、すべての髪の毛とひげが全てちょうどその通りに、彼は立ち上がってそれを見ました。私は、私は、何年も多くの困難な働きの時について、そして彼がどのようにして彼がやろうとしていたことについて彼の思いの中で常に同じビジョンを保持しなければならなかったかを考えていました。そして、ただ、考えてみてください。何年にもわたって彼の思いの中でのビジョンは、それがまさにそれが何であつたかに正確に見えるようにするためだったのです!彼は最初にビジョンを得ました、そして彼はどのように彼がそのビジョンに取り組み、切り落としそして作り上げていかなければならませんでした。そして、彼がそれを完成した時、それが本当に完璧になるまで。彼はその朝、ハンマーを片手にして、立ってそれを見ました。

そして、彼がそれを見て、彼の思いの中のビジョンが実際に彼の前に立っていたので、彼は大いなるインスピレーションを得ました。彼が見たこと、そして彼がモーゼがどのような姿であるかの概略そのものが彼の

前にあった時、この長年の思い全てがそこにあったわけです。そして、苦しみ、そして何時間もの悲しみと悩み、そして批判、そして他のすべてのもの、しかしそれでも彼はビジョンが完成するまでビジョンを持ち続けていました。

25 そして、それが完成したとき、彼はハンマー、または彫刻家のハンマーを手を持って後ろに立ち、そして彼はその像を見ていました。そして彼が見たビジョンのインスピレーション、それをどのように行うかというインスピレーションを最後まで与えてくれていました。インスピレーションは彼が自分のそばに着くまでひらめき、それをひざの向こう側にぶつけ、「話さない!」と言われたのでした。

さて、その素晴らしい画像、膝、右膝にヒビがあります。膝の真上、約6インチが、その深さがあります(私はその上に手を置きました)。

26 彼がこれを作るために何年もの間ずっとそのために時間を費やした後、それから、見ることの影響は彼が彼の心と彼のビジョンで見たものを成就し、見たいと言う願いが完成されました。そして、それが完成したとき、彼は彼自身の傑作が彼に話し返すべきであると思うほどに、彼はそれから大なる靈感を受けました。そして彼はそれを脚にぶつけて、叫びました。「話して」とそして、それが像に傷をつけました。その像にキズをつけました。

私にとって、その傷こそがそれを傑作にしたものでした。さて、多分ある人達は違う思いがあるでしょう、あなた方はそれが傷物になったと考えている。しかし私には違うのです、それはそれがそうであるべきものを作ったのです。それ—それは…長年にわたる入念な作業と労苦、そしてそれを生み出すためのインスピレーションなどがあったため、彼の苦労は無駄でなかったことが証明されました。それは完璧だったので、彼は「話さない」と叫びました。なぜなら、彼は目の前に、自分の思いの中にあったビジョンを実現しようとしていたことを自分が達成できたことを見ていたからです。そして、それゆえに、彼はインスピレーションの下で、ある理由から、普通ではない何かをしました。彼はそれを叩き、「話せ!」と叫びました。ほら、もし彼が考えていたら、彼はそれをしなかつたらう。しかし、彼は考えていませんでした。それは彼の前に完全に彼思いの中に持っていたものを見ることのインスピレーションでした。

27 彼の苦しみ、そして疲れ、そして長い夜、また、何日も世界から離れて収容され、多分サンドイッチを食べるだけかもしれません。そして、それをこすって、戻って来て、「いや、それじゃあなんともこういうのは。さて、こうならなければならない。」そしてそれをこす。それから彼はそれを見て、ちょうど完璧でした、その時彼は現実にそれを見ました。彼の思いにあったネガティブな物が現実になり、それがポジティブになり、それゆえに彼の中ではじけたのでした。そして、それは彼が「話して下さい!」と叫ばなければならないほど本物だったのでした。

私には、それは反映でした。それは彼の作品に対する賛辞だったので。彼自身の作品が彼にインスピレーションを与えたので、彼は自分のそばにおいて、それを打ち、「話さない!」と言うほどでした。

28 私はそこに立ってその像を見ました。私はその人がそれを作るのに費やした時間を考えました。彼らはそれが何年かであると言いました。しかし、それは彼への反映でした。なぜなら、それは彼への貢献でしたから。彼の偉大な芸術への貢献でした。そして、彼が最終的にそれに達成することができたとき、それはとても素晴らしかったです。

29 さて、ミケランジェロのページをめくって、本を閉じましょう。

そして、別の本を開いて、偉大な彫刻家である全能者について読みましょう。その方は、世が存在する前に、そして礎が築かれる前に、彼は彼が望んでいたことを思いを抱いていた、そして彼は彼自身のイメージで人を作りたいと思った。彼は何かを作りたいかだったので。現実的に、主のビジョンが何であったか、主の考えの中にあった事。

30 さて、ミケランジェロにとって、それは彼の考えの特性だったので。

そして神は偉大な彫刻家である彼ご自身のイメージに倣って人を造られたかだったので。そして、私たちは、彼がその素材から育てられたのに気づきました。最初のもは恐らく魚、そして鳥、そして地に這う物、そして彼は多くのものをもたらしたのでした。しかし、終に、彼が立ち上げたように彼は創造主であったので、彼は持っていました...彼は人間のようではありませんでした。今、彫刻家は、創造されたものを取り、画像を作り上げなければなりません。彼は永遠のもの彫刻家でした。彼は彫刻家であり、彼が思いの中に持っていることを創造し、実現させることができました。または、そうでなければ、彼は彼の属性が望むものを材料と

して創ることができます。

31 そして主は地上に居る小さな動物たちと同様に這う物の上にも働きかけられ始めました。そして彼はそこからそれを他のより高いものに持ち込み始めました。そして終に、ライオン、トラ、クマなどのより大きな動物にそれをもたらしました。それから彼はそれを猿や類人猿の中び命に持ち込んだのです。さて、進化論ではありません。私たちはそれはあるやり方から来たと考えています...それは完全な創造物でした。神はあるパターンで働いています。

しかし、ついに地球に出て来て、完全で、それこそが人でした。そして、彼はその人の中でそれが彼のように見えたことを見ることができました。ですから、彼がその人を見た時、その人は彼の創造主が何であったかを反映していました。神は今や、ご自身のイメージの人間の中に彼が望んでいたことを成し遂げることができました。

32 そして、私は、これに対して、彼がこの人を作ったとき、彼についてはまだ見ていなかった何かがまだあったと言います。一と言うのは、彼(その人)は一人きりでいたからです。そして、それは神が彼自身がそのようでおられたから。彼は永遠の方でした。そして今、その人は神のかたちになって、また、地上にひとりで存在していました。ですから、彼は彼の左側に少し打撃を与えなければなりませんでしたが、そしてそこから彼はそれから打ちのめされた部分を取り、彼に助け手、妻を作ったのです、そして彼は一人ではなくなったのです。彼はそうでした、彼には一緒に居る誰かがいました。そして、それは神の素晴らしいわざなのです。

33 そして、彼は、偉大な彫刻家なら誰でも彼の傑作を手に入れるように…

さて、最初に、彼は彼自身の傑作を持っていました。しかし、彼はその傑作が彼のように孤独であることを見たので、彼は側でそれを打つことによって傑作を分けて、助け手をそこに齎したのでした。

そして今、二つを一つにするために、彼は素晴らしい彫刻家のように、彼らを美しい場所に置きました。一人の彫刻家は素晴らしい傑作を作って、それを取り、それをどこかの路地に置くか、建物の後ろに隠すようなことはしません。主が言われたように、「人はろうそくに灯りを付けて柀の下に置くことはありません。」私たちが神の傑作になるとき、私たちはどこか路地に隠れることはないのです。私たちは光を与えなければなりません。

34 ですから、彼がこの傑作を作った後、彼はそれを地上のここに置き、エデンの園の最も美しい場所に置いたことがわかります。彼は彼の傑作、二つを一つにしてをエデンの園に置きました。彼がこの傑作をよく見たことを相当に彼が喜んだ事は違いありません。彼はその後、私たちは彼が休んでいることを知りました。彼は彼のわざにとっても満足していましたから。

35 さて、思い出してください。私の意見ですが、この傑作は、モニュメントでサンアンジェロのモーゼの傑作を傷つけた鞭なのです。

そして、花嫁を引き立たせたのは、彼の傑作の側面を切った鞭の傷だったのです。そして今、私たちは彼らをエデンの園での傑作の家族として見えています。なんて美しかった事だろう。そしてそれは彼をとっても喜ばせました。そして彼は休息をとりました。彼は言いました、「私は休もう」と

しかし、彼が休んで彼の傑作に信頼していた間に、彼の敵がやって来て、この素晴らしい傑作を見つけました。そして彼は、だまして、彼は庭の壁の下を這い、そして彼はこの美しい傑作に傷を付けました。彼は一彼はそれを傷つけたので一墮落したのです。

36 今、私はその時計を見ようとしています。そして、甥のマイクに、30分でベルを鳴らしてもらいましたが…彼はそれをしていません、そして私はすでに30分経ってしまいました。しかし、それを少し続けます。分かりますか?さて、私はこれらのルールを破ることを望んでいません。私はこれらの規則を作りました、そして私は私が私自身の規則を破っています。

37 さて、この傑作に注目してください。サタンがそれを手に入れると、詐欺師(欺く者)が壁を突破し、そしてこの傑作を傷つけました。それは彼がそれをした方法だから、…彼はどのようにそれをしましたか?もっと詳しく説明します。彼がそれをした方法は…この傑作は、みことば、すなわちみことばに囲まれていました。そして、家族の傑作そのものがこのみことばによって強化されました。しかし、壊れた部分は、元の部分から外れ、その壁を越えて出て行き、サタンにそれを傷つける機会を与えます。そして今、あなたが私がそれらのことを信じていることを知っているのので、私はそれを言う必要はありません。しかし、傑作は壊されたのでした。

しかし、偉大な彫刻家は、彼が彼の家族の墮落、傑作を見たとき、彼はそれをそこに置いて、下向きにして、台無しされたことを喜んではいませんでした。彼はすぐに仕事に行き、それを再構築しました。彼はそれが滅びることを望んでいませんでした、いつもそのようにそこに横たわっていました。なぜなら彼は神であり、彼は打ち負かされないからです。それで、彼はすぐに仕事に行き、再び彼自身のイメージに人を造り始めました。

38 さて、私たちは、大洪水前の世界から、すべてを破壊したことに気づきます。なぜなら、作られた契約は条件付きで作られたからです。「もしこれをしないならば、あるいはもしそれをするならば」と言う条件です。偉大な彫刻家である神は、人は契約を守ることができない事が分かっていました。彼はそれを行うことができません。まったく方法がありません。

少し前のインタビューで、私は部屋にいる人に話していました。今ここにおられます。「しかし、ブラナム兄弟、私には非常に多くのことがあり、私はそれが間違っていることを知っています。」そして敬虔な小さな女性が言いました。

私は言いました、「でも、姉妹、あなたは自分自身を見ていないのです。それはまさにあなたの望みが何であるか、あなたが何をしようとするかです。そして、もしあなたが本当に主を愛しているなら、あなたは心を尽くして主に仕えようと努め、それからあなたの過ちはすべて主イエスの血によって隠されています。」分かりますか？分かりますよね、彼は道を作られたのです。

39 ですから、彼は今、人を彼の契約から連れて、「もしそうなら、私はそうします」と言って始めます。そして彼はアブラハムと呼ばれる人から始めて、無条件にアブラハムに契約を与えられました。彼が傑作を始めるたびに、サタンはそれを手に入れました、と言うのは御言葉は...しかし、彼がアブラハムとともに始められたとき、彼は「私はすでにそれをしました」と言われていました。さて、これは無条件であり、「あなたがそうするなら、私はそうする」ということではありませんが、「私はすでにそれをしました。」なのです。さて、彫刻家である神は、この傑作を手に入れようと決意しておられます。

それから、アブラハムから、家父長たちが出ているのです。そして、家父長たちは実際に...さて、神は何をされていますか？彼は墮落したこの傑作を再建されているのです。ですから、家父長たちが最初に見つけたのはアブラハムでした。

40 さて、すべての傑作は土台に置かれているのです、彫刻の像です。アンジェロのモーゼ像は、3フィートか4フィートの大理石の上に置かれています。それには基盤があるのです。ですから、神はこの傑作を準備するにあたり、それを家父長たちの土台にされました。そして家父長の土台は、最初にアブラハム、それからイサク、そしてヤコブ、そしてヨセフ、その四隅でした。

そして今、アブラハムこそが信仰の礎だったのです。4つの礎があったとしましょう。信仰の礎はアブラハムでした。愛の礎はイサクでした。恵みの礎は、ヤコブへの神の恵みであるヤコブでした。誰もがそれを知っています。しかし、ヨセフは完全でした、彼がその像を置くことができる場所があります。第一の礎、第二の礎、第三の礎ではなく、第四の礎の上に。

41 もちろん、アブラハムはキリストを描写しました。イサクも愛のうちにそうしました。アブラハムは信仰をもって行いました。イサクは愛の内に。ヤコブはその恵みによってそうしました。なぜなら、ヤコブは「欺く者」を意味し、それが彼の本質でしたが、神の恵みが彼と共にありました。しかし、ヨセフに関しては、彼に敵対する物は何もありません。ほんの少しの傷だけです。礎も傑作であるに違いありません。彼が彼の父、預言者に言ったとき、「パロに言ってやるが、あなたの民は牛飼いであり、羊飼いでない。なぜなら、羊飼いはエジプト人にとって忌むものだからだ。」

しかし、その老預言者がパロの前に来たとき、彼は言いました、「あなたのしもべは牧夫です」。だから、それはそれを傷つけました、見てください、それがまだそれを傑作にしている理由です。

42 今、その土台の礎は信仰、愛、恵み、そして完全さにおいて、家父長たちによって築かれています。

さて、この偉大なる傑作に至る身体による業は預言者でした、それは御言葉だったのです。あなた方がそれが読めるようにと望んでいます。分かりますか？預言者；立法ではありません！預言者たちは、預言者たちがからだをつくるように立証されたみことばだったからです。家父長ではありません。預言者、彼らはみことばでした。

終に、彼がモーセの時代に戻り始め、預言者を通して一人一人に降りてこられたのでした。そして、終に、身体を築き上げ、常に近づいていきます。そして、それらすべての中で最大のものはヨハネでした。聖書がそう言っています。イエスがそう言われました。「女の産んだ者の中で、バプテスマのヨハネより大きい人物は起らなかった。」。だから彼は御言葉を紹介出来る唯一のものだったのです。

43 そして、ついに、偉大な首長、すべての首長が来ます。体の残りの部分はそれについて話しました。土台の礎は家父長によって敷設されました。しかし、からだは預言者であるみことばによって造られました。そしてそのすべての頭がここに来て、イエスがその場所に来られたのでした。そこで、この頭の部分がその上に置かれたとき、私たちは彼の中に神のすべての御手のわざを見出すのです。私たちは彼の中で、みことばの完全な反映であるを見出します、彼は御言葉で御言葉の成就だからです。さて、再び、神は完璧な傑作を再びお持ちなのです。

イザヤが言ったように、「見よ、私の僕、私の傑作が、全ての時代を通して表される、この完璧なものが来る」そして、ここで彼はわたしの目の前に立っておられ、完璧です！」そこでは、彼自身のイメージで、神を反映します！なぜなら、彼はヨハネ14章で、「わたしを見た者は、父を見ているのである」と言われました。

44 そして、「初めにことばがあった。ことばは神と共にあった。」そしてみことばは切り出され、初めにみことばがあったことを反映していました。彼、御言葉は彼自身イメージの傑作に反映され、神は彼自身の様相に再び戻り、御言葉の形が人のイメージとして傑作となり反映されました。

すべての預言者には欠点がありました。すべてが一部でした。しかし、ここで、ついに、それを経て、ついに、傑作、完璧なもの、彼に何の欠陥もありません。それで、ビルダー自身を完璧に反映し、彼自身のイメージが彼のわざに反映されていました。「神とキリストは一つでした」神は彼自身の御霊をキリストに入れ、それからイメージとビルダーでさえ一つになりました。神と彼の彫刻作品、彼の傑作！モーゼは、モーゼが聖アンジェロの作品において、むしろミケランジェロでした。石でできているので、死んでいた彫刻作品でした。しかし、ここで、マスタービルダーは、彼が彼の御手のわざを完成させたとき、彼はそれに踏み込みました。

45 そうして人の贖い主を完成させました。すごく完璧で、神的です、しかし、私たちが彼を望んでいる美しさはありませんでした。生ける神のこの処女生まれの御子がすごく完璧で、へりくだった者、そして神のかたちをとられたのです、預言者を通して彼の命をもたらした偉大なマスターまで…そして彼はすべての預言者たちを成就させられました。彼はかなり完璧でした。神がこれを見て、彼は彼をたたいて、「話しなさい」と叫びました。ミケランジェロがしたように。「話す！」

あなたは「そうですか？」と言います。

マルコ9:7 また、私たちは変容の山の上に、律法であるモーセが立っていたとき、預言者エリヤが立っていたのを見出しました。家父長、父親、律法、預言者、そして彼ら全員がそこに立っていたところからずっと戻ってきました。私たちは声が雲から降りてくるのを聞いて言いました。「これは私の愛する子、彼に聞け」と。そして、もし彼らが聞くつもりなら、彼は話さなければなりません。それは、彼が打たれるほんの数日前の事でした。「これはわたしの愛する子、わたしの心にかなう者である」。私は彼を造った。私は彼をこれに齎すようになって4000年になります。そして今、彼はすごく完全なのです、私は彼を打たなければならないのです、そうすれば彼は話すことができます。彼に聞け！彼は完成された方です。彼、彼は傑作です。」

46 覚えておいてください、彼はいつも旧約聖書を通して描かれていました。

私たちは彼が荒野の岩、それが打たれた荒野の岩であることを見出だしています。「私は荒野にいたその岩です。」しかし、それはまだ完成に至っていない石でした。しかし類似の形でそれは教会に続き、彼がそれから引き出すことができることをそれから引き出すために、彼が生命を与えることができる人々に生命を与えるのです。しかし、彼は荒野のその岩でした。彼はまだ人にされていませんでした。彼は類似ただただでした。

モーセは彼がこの岩の上に立っているのを見ました。彼は彼が通り過ぎるのを見ました、そして彼は言いました、「それは人の背中側です」。ご覧のとおり、彫刻家はモーセに提示していました。それはキリストの潜在的なイメージでした。偉大な傑作が完成したときの姿は、このようになります。彼は通過しました…彼は、傑作がどのように見えるかというビジョンをモーゼに入れ込んだ、または投影したのでした。それが荒野を通り過ぎたとき、それは人の後ろの部分でした。

47 覚えていますよね、アンジェロは叫び声を上げて像を打つだけで、「話せ！」と言ったのです。

しかし、それは偉大な彫刻家である神とは異なっていました。神がご自身の姿で人を造られた時、それは彼を反映するほど完璧でした、神は人の姿を通して語られ、彼が何をするかを示しました。彼はそれを神格として持って来られていたので、彼らは彼らの潜在的なイメージにあったように彼は預言者を通して語れたのです。しかし、彼が神格として来られた時、彼はすべて神のかたちでした。彼は自分自身を描いていました。それから、私たちのために打たれ、今、彼は私たちの傑作、神の贈り物、イエス・キリスト、永遠のいのちとなられたのです。私たちがそれを決して忘れないようにして欲しいです。

48 その時代が暗くなるのを見ながら、影が落ちるのを見ます！私が予測すると、「太陽がもう少し回転するだけです。この国は無くなるでしょう。」知っていますか？

昨日、7月4日。トーマス・ジェファソンは独立宣言に署名し、彼と彼と一緒にいた他の役員たち、そして自由の鐘が鳴り響き、私たちは国家として独立を宣言されました。歴史によると、200年以上続く民主主義はありませんでした。そして、それは1776年7月4日でした。あと11年で、200年となります。そうなるでしょうか？いいえ、わかりません。11年。そして、もしそうなら、それはすべての歴史の記録を破ることになります。

49 そして、私たちは時代の状態を見えています。人々の状態を見ているのです。私たちは政治の状態を見えています。私たちは世界の状態を見ます。それはしっかりしていません。タイタニック号のように沈むようです。彼らが余裕を持っているので、それは下がらなければならない。ある国は別の国に、それが陥落するときに余裕を与えます。そして、この王国、そして他のすべての王国は、来るべき王国に余裕を与えるために崩壊しなければなりません。「私たちは動くことのできない王国を迎えます。」神のこの完璧なイメージ、傑作を通して。

50 神様、彼を見た時、彼はとても靈感をされていました！彼はとても…神が見たように彼を見て、そして彼の形を見るために、彼は非常に靈感を受けていて、それが贖い主、贖い主としてイエスは完全な傑作となるでしょう。ですから、神よ、ご自身が打たれるために、なぜなら、彼自身のペナルティを支払うために、神とキリストはつまり神が傷つけられ、そのイメージの中で打たれる事が出来るように一つになったのです。そして、それがイザヤがこう言った理由です。「我々は思ったのです、彼は打たれ、神にたたかれ、苦しめられたのだ。しかし彼はわれわれのことがのために傷つけられ、われわれの不義のために砕かれたのだ。彼はみずから懲らしめをうけて、われわれに平安を与え、その打たれた傷によって、われわれはいやされたのだ。」

51 完璧なイメージ、神の人！神は変身し、超自然からビジョンへと変化し、ビジョンはイメージに投影されました。そして、超自然が死の感覚を味わうことができるように、イメージは打たれました、神の完全な傑作。

彼はモーセでそれをする事はできませんでした。彼は預言者たちでそれをする事ができませんでした。イザヤはノコギリで挽かれ二つに切られていたのです。彼は石で打たれた預言者たちでそれをする事はできませんでした。彼はそれを感じる事ができなかったのです、それを行う事ができませんでした。彼のほんの一部でした。

しかし、この完璧な傑作では、彼は神の神格が体で表された完全な成就でした。彼はモーセだけで映す事はできませんでした。彼は彼の存在全体をこの人に投影し、人類全体の死を味わう事が出来たのでした。神の完璧な傑作！神は、それを見ることによって非常に靈感を受け、あらゆる時代の贖い主となります。背景にいる人たちに語るために、以前も今もそうでした。

すべての約束は彼で満たされました。彼は完璧の内の完璧でした。すべてのタイプは彼で成就しました。私たちの近親者贖い主、ルツとボアズ；シナイ山からの私たちの立法を与えた方。私たちの預言者、彼が山から来たように、彼は荒野から来たので、荒野から来ました。彼が永遠から来て人間になる、完璧なイメージです！

52 神は、時代を経て家父長たちによって切り裂かれ、彼の足場を作り、彼がこの礎を築くであろうさまざまなものから彼らを育てられました。この上に彼は彼の御言葉、預言者を建て始めたのです。そして終に、完璧な預言者、完璧な礎、神がお持ちになった完璧なビジョンが出来たのでした。

そして今、これを語るのです、彼こそがみことばなのです。そしてみことばが語るためには、彼はそのイメージの中に来なければならないのです。そして、イメージが語るには、それは打たれなければなりません。彼はイメージに入ってきて、そしてそれを通して語るならば、完全な贖い主です。

旧約聖書でのすべてのタイプは彼で満たされたのです。先日申し上げましたように、旧約のエホバは新約のイエスなのです。はい。

53 あなたの多くのように、男性、女性、私の年齢。昔は全国にたくさんのチャイニーズランドリーがありました。中国人が最初に来始めた時、彼らは西海岸から来て、東に移動し、東の国からやって来て、このように移動しました。そして彼らがそうであったように、彼らは私たちの言語と私たちのやり方に精通していない人々でしたが、彼らは立派な洗濯屋でした。そして、彼らはチケットを書くことができなかつたので、あなたは正しい洗濯物を取り戻すことができました。

しかし、その中国人は、彼は何も書かれていない小さなカードをたくさん手に入れました。だから、あなたがあなたの洗濯に来るとき、彼はこのカードを取り、ある特定方法でそれを破くのです。そしてあなたに一つの駒を渡し、彼は他の駒を残しました。そして、今、それは私たちが今持っているものより少し良いです。なぜなら、あなたが自分のものであると主張するために戻ってきたとき、それらの2つの部分はぴったり合わさなければならないからです。しなければならない場合でも、それを偽装することはできませんでした。それを行う方法はありません。手紙のコピーを作成することはできますが、その切れ端になりすますことはできません。それは他のピースとぴったり合う必要があります。したがって、持ち込んだ汚れた服は、このチケットでのみ引き換えることができます。差し出したときのチケットと合っているからです。

54 そして神が預言者たちによって、そして律法の下で、罪を犯したことで罰に定められます、律法には恵みがありません、それはあなたが罪人であることをあなたに告げるだけです。しかし、イエスがその場所に来られたとき、イエスこそが成就だったのです。イエスは、神が約束されたすべての事への成就だったのです。彼は完璧な約束されていた姿として同一認識されました。ですから、旧約聖書のすべての約束はイエス・キリストで満たされました。モーセでは満たすことができず、どの預言者でも満たすことはできませんでしたが、その傑作で満たすことが出来たのでした。それはそうなるだろうと言われていたすべてと一致しました。

つまり教会は神が約束されたすべてのものと一致しなければなりません。それはそれによって打たれたものでなければなりません。ですから、オリジナルがみことばであれば、みことばから取られた主題もみことばであり、みことばと一致します。

55 したがって、その中国人、あなたは主張することができます...そこで、法律はあなたを罪に定め、あなたは汚いと言いました、そしてあなたは有罪で、あなたを刑務所に入れられたかもしれません。しかし、彼が来たとき、彼はそれのための合った一片だったのです、それがあなたを連れ出すことができたのです。神がエデンの園に戻すと約束された贖いの完全なチケットとするためでした。「お前のすえがサーパントのかしらを砕き、おまえは彼のかかとを砕くであろう その頭が砕かれる」。

56 さて、神が完成させたこの完璧な傑作を見つけています。さて、私たちは彼が約束されたすべてのものであったことに気づきます。彼こそがすべての約束であり、すべての預言であり、神が約束されたすべてののです。「あなたの子孫がサーパントの頭を砕く。」さて、彼は律法でそれを砕くことはできませんでしたが、彼は預言者でそれを砕くことはできませんでしたが、しかし彼は女性の子孫であるキリストになった時にそれが行われたのでした。彼は、ダニエルが見た山から切り出した石だったのです。彼こそがうたれた方だったのです。彼こそが蛇の頭を砕くことのできる唯一のお方なのです。

彼の人生は、モーセの人生と全く合わさったものだったのです。彼の人生はダビデのものとも一致しました。彼が合わさる一片であるかどうか、見てみましょう。

57 拒絶された王であるダビデが自分の民の上にいることに注目してください。彼は…ある日、彼が…彼自身の息子は彼に対して反乱を起こし、イスラエルの軍隊を分け隔ててしまいました。そして彼は、ダビデであり、彼の王座から彼自身の人々によって強いられたか追いやられました。

そして彼の道の外で、彼を憎む男がいた、そして彼はダビデに唾を吐きながらそこを歩いていました。その護衛が剣を抜いて言いました、「その犬の頭は彼に留めておきます、私の王につばを吐きますか？」

ダビデは言いました。「彼をほって置け神が彼にそれをするように言われたのだから。」

分かりませんか？「痛みを知り、病を知っていた方ほふり場にひかれて行く小羊のように、また毛を切る者の前に黙っている羊のように、口を開かなかつた。」彼らは…彼はそれを言った。おそらく、ダビデは彼が何を言っているのかを知りませんでした。

しかし、およそ500年か、600年後、またはそれより少し後、ダビデの子が彼らと同じ通りを通った時、彼は唾を吐かれました。しかし、ダビデが彼から、彼が逃亡したときに何が起こったのかに気づいてください。そして、彼が亡命から出て行ったとき、彼が戻ってきたとき、その人は平和と慈悲を懇願しました。彼を打た

れた人々でさえ、彼が戻ったときにいつか彼を見ることでしよう。

58 そして、ヨセフの中で、ヨセフは奇妙な生まれの少年であることがわかりました。最後に、その礎の一番上にその傑作が建てられる場所に、それは信仰から来て、愛し、そして恵み、それによって完璧になるのです。そして、それは初めの足元から、キリストにおいて完全なものとなるのです。彼がどのようにして礎の最上部をヨセフの中に描かれたか、それらすべての中で最も完璧であることに注目してください。

ヨセフは彼の家族に生まれたことが分かります。そして彼は実際にヤコブの妻であった法的に正しい女性を通して生まれたのでした。また、彼が生まれたとき、彼の父親が彼を愛していたことにも気づいてください。そして彼の兄弟は理由もなく彼を憎んでいました。なぜ彼らは彼を憎んだのでしたか？彼がみことばだったからです。

その礎そのものが見えますか？礎の頭がどのように来るのか分かりますか？さて、体の頭が来るのを見てください。さて、花嫁の頭が来るのを見てください。彼はみことばでした。

そして彼は予見者だったので彼らは彼を憎んだのです。彼は物事を予見し、それを彼らに言いました。それらは起こったのです。それがどれほど長くかかったとしても、それはちょうど同じように起こりました。そして彼は霊的であることによって、彼の兄弟たちから破門にされました。彼らは彼を愛すべきだったのに。しかし、彼らは彼を憎みました。彼は預言者であり霊的だったからです。それゆえに彼らは彼を憎んだ。

59 注目してください、彼は銀三十シケルで売られた、それを賽銭箱に投げ入れた、そしてそれは死んでいましたが、賽銭箱から取られた。そして彼の悩みの時に、刑務所で。執事とそのパン屋は、執事が救われ、パン屋が失われたことを知っています。そして、キリストの獄の家の十字架で、一方は救われ、もう一方は失われました。2人の泥棒、2人の不正者。

そして私たちは彼が刑務所からパロの右手として連れて行かれたことに気づきます。だれもヨハネを通して以外パロに話しかけることはできませんでした。そしてヨセフがパロの王座を離れ、ラツパがエジプト中に響き渡ったとき、爆風は出て行きました、「みんな、頭を下げて膝をかがめよ、ヨセフが来られる！」

60 ですから、イエスについても同様です。理由もなく、どのように父から愛され、宗派の兄弟たちを憎んだのか。彼は銀貨30枚で売られていました。そして、おそらく死んでいると思われる箱の中に入れました。十字架上で；1人は失われ、もう1人は救われた。そして十字架から持ち上げられた。そして、神の右手に座り、王様の元で彼に反映されていた偉大なる御霊そして、イエス・キリストを通さない限り、人は神と話すことができません。考えて下さい！そして、彼がその御座を離れると、「ラツパが鳴ると、すべてが膝をかがめ、すべての舌が告白する。」

覚えておいてください、彼は繁栄の子でした。彼がしたことはすべて繁栄しました。刑務所であろうとどこであろうと、それは正しくなったのでした。

彼は彼の子供たちがすべてがともに働いて益となると約束したものと違うのです。病気でであろうと、刑務所の家であろうと、死であろうと、悲しみであろうと、それが何であれ、神を愛する者たちのために役立つのです。彼はそれを約束しました、そしてそれはそうであるに違いありません。そこにあるはずです。彼によって我々に語られた象徴なのです。彼こそがその完璧な神のかたちでした。さて、ここでも見るのです、彼が再び来られた時…

61 覚えておいてください、ヨセフは啓示によって、彼の偉大な預言によって世を救いました。ヨセフがいなかったら、世は死んでいたでしょう。

そして世が、もしそれがイエスのために存在していなければ、死んでいたでしょう。「神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。」神は命を予約しておられるのです。

62 何度でも行くことができます！なぜなら、彼は単純にダビデと合っていたからでした。彼はモーセとも一致していたのでした。彼はエリヤとも一致していました。彼はヨセフとも一致していました。すべては旧約聖書で彼によって描写された、または予告されたものであり、完全な贖い主を示すものと同じよう一致しているのです。それが、私たちが古い汚れた服を洗濯物として出して、再びそれを主張することができるということです。子羊の血で洗い流されました。私たちは自分のものだと主張することができます。そして、全て彼がそれらのために死んだものを、私たちは要求することができます。ですから、彼は描かれていた完璧なみことば

でした。

63 それは偉大な彫刻家である神を喜ばせ、彼を打つことによりこのようにしていただきました。私達はイザヤの中で彼が見えます、「また顔をおおって忌みきらわれる者のように、彼は侮られた。われわれも彼を尊ばなかった。」私たちが彼を望んでいる美しさはありません。」彼について話している誰もが彼をからかっていました。私は今、この時代における彼について話しているのです。皆が彼を馬鹿にしています。わかりますか？「我々は彼を見て彼を尊んだ」尊ぶは「見ている」ことを意味します。「彼は打たれ、神にたたかれ、苦しめられた主であるイエスを尊んだ。」しかし、彼は何のためにこれをしたのでしょうか？「しかし彼はわれわれのこのために傷つけられ、われわれの不義のために砕かれたのだ。」

さて、私たちはそれを続けることができますが、私はあなたが今私が何を意味しているのか、神が彼の傑作を築き上げたという絵を持っていると信じています。

64 しかし、最初に彼がアダムの側を打ち殺したとき、神が彼の側から何かを取り除いたことを忘れないでください。

さて、キリストの打たれた傷は大義のためでした。家族になる、花嫁となるために、彼から取るかもしれませんが。彼は彼を花嫁とするかもしれませんが。ですから、彼の傑作が完成したとき、彼はそれを打ち砕かなければなりません。別の作品ではなく、別の創造物ではなく、同じ創造物なのです。

私の兄弟達、これを悪く考えないで、ちょっと考えてみてください。もし彼が彼のために花嫁を作るために彼から最初の創造物を奪ったならば、彼は決して別の創造物を作らないのです。彼は元の創造物の一部を取りました。では、もし彼がみことばなら、花嫁はどうあるべきでしょうか？それは元の御言葉でなければなりません御言葉に生きる神。

65 南アフリカ、キンバリー。ダイヤモンドを見ていた時、彼らがどのように地面からそれを出していたか。そして、私は彼らがそこに横たわっているのを見ました。同様に、工場あるいは鉱山の管理者は、私のプレイヤーラインの先導者の一人でした。そして、数万ドル相当のダイヤモンドが積み重なっていることに気が付きましたが、光の下でも輝きませんでした。そして、私は鉱山の管理者に言いました、「何故ここにあるダイヤモンドは輝かないのですか？」

彼は言いました、「先生、彼らはまだカットされていません。彼等はカットを入れられなければならない。そして、カットされると、光を反射します。」そういうわけです。

傑作はカットを入れられなければならないのです。注目、何のためのカットでしたか？ピースは切り取られていますか？いいえ、違います。切り落とされた部分は、ヴィクトローラの針になり、ヴィクトローラの針は、世界には目に見えない音楽であるレコードに載せられて使われています。しかし、針はそれを引き出すものであり、みことばの真の解釈を引き出すのです。

66 彼の人生はすべての人々と一致しました。彼がうたれることによって神を喜ばせたのです。そして、今、なぜ彼は彼を打たれたのでしょうか？同じ理由で彼はアダムを打たなければなりません。

さて、私たちは彼が神に打たれ、苦しんでいる、病になって、罪人のための完璧な子羊、罪人が殺した完璧な傑作を目にしています。

67 さて、2000年近くの間、神は再び彼を傑作にされてきました。というのも、彼はアダムを殴りつけて、彼から妻を作るために、彼の一部である、肋骨を取り除いたのです。そして今、彼がカルバリーで打ったその完璧な傑作は、神はイエスからある一片を手に入れました。それは新約聖書それだけです。彼は旧約聖書を成就しました。さて、それは新約聖書です。もう一つの成就された一片。見てください、新旧は夫婦です。わかりますか？そしてそれは新しいものを先取りしました…旧約聖書は新しいものを先取りしたのです。キリストは来てそれを成就するためでした、傑作。さて、彼の花嫁は新約聖書にあるすべてのものを成就するでしょう。もう一つの傑作が作られています。

68 彼がこの傑作を作るのに4000年かかったので、現在、彼は2000年近くの間、もう一つの傑作である、キリストの花嫁を作っています。そうすることで、彼は変わらない方法でそれを行います、彼が最初に傑作を作ったのと同じ方法で。彼の言葉を通して。それは彼が彼の傑作を作る方法なのです、なぜなら彼はそれが完全な言葉であるときだけ完璧な傑作になることができるからです。

いかなるほこり、ゴミ、注射などは壊れます。「天地が滅びても、私の言葉は滅びることが無い。」あなた

は、ダイヤモンドを切る際に、それを行うには完璧な道具が必要でどんなのでも出来るわけではない事を覚えていきますね。。私は彼らの何トンも大きなグラインダーがそれを通り抜けてクラッシュするのを見ました、そしてそれらを大きなトンの上に動かし、そのダイヤモンドを通り過ぎます。いいえ、それはダイヤモンドを壊したりはしません。それは切られなければなりません。

69 さて、神は変わらない方法で同じことをしています。私たちは、マラキ3章で、「主なるわたしは変ることがない。」と言われました。神は自分の方法を変えることはできません。

さて、彼がアブラハムで始めたように。最初の傑作が墮落した後、彼は礎の上にあるアブラハムで別の傑作を作り始めました。

彼はペンテコステの日から、別の傑作、元々の子孫(種)、言葉を作るために始めたのでした。初代教会で始まりました。それは何でしたか?その種(子孫)、みことば、みことばの現れ、約束が与えられました。ヨエルは言いました、「その後わたしはわが霊をすべての肉なる者に注ぐ。あなたがたのむすこ、娘は預言をし、あなたがたの老人たちは夢を見、あなたがたの若者たちは幻を見る。」(ヨエル2章28節 参照:口語訳)彼が終わりの時にすることは何か、2000年間続く。

70 注目してください、そしてそれはオリジナルとして始まりました。イエスが言われたように、「神のことばは種まき者がまく種」です。そして彼は種まき者でした。種はみことばでした。そして、注目してください、それだけである種は決して何もしません。生産を再開するには、地面に落ちる必要があります。そして、この完全な教会であるこの種は、彼女が宗派になったとき、ローマのニカイアで地面に落ち込みました。

さて、歴史家たちは覚えておいてください。そして、あなたがたこのテープを聞く予定の方は、それをチェックして、もしそれが正しくないかを見出してください。教会はローマのニカイアで、オリジナルの御言葉の代わりに教義と信条をとったときに死にました。それは何でしたか?神はその初代教会によって、彼(イエス)が神であることを示されました。彼が教会を完璧に造られたのです。しかし、教会は他のすべての種のように、地面に落ちて死ななければなりません。さて、それは地面に落ちて死に、そして無駄になりました。

71 ご存知のように、私は最近ある本を読んでいます。ある人が書いた本そのタイトルは「沈黙されている神」。あなたはそれを読んだかもしれません。忘れましたが、Brumbackだと思えます。いいえ、わかりません。誰が書いたか確信が持てません。残念ながら、思い出せません。私の書斎にありました。沈黙している神にはこう書かれています、「神は暗黒時代の何千年もの間、じっと手を動かさず、忠実な殉教者が獅子の穴に行くのを見守りました。そしてローマ人によって焼かれる。すべての種類の暗殺; 女性たちは服を脱がされて、長い髪にタールを塗って焼かれていました。」覚えておいてください、短い髪(女性の)は最初にローマ時代に始まったのでした。そしてクリスチャンの女性は長い髪をしていたので、彼らはそれをタールに浸して彼らを火にかけ、そして彼らを焼き、そして裸にした。彼らを餌としてライオンに与えた。そしてこの作家は、「その神はどこにいるのですか?」言うのですから。

アーナンという人間の盲目であることよ!その種が死ななければならなかったことを知らないのですか?彼はそれらを届けようとはしませんでした。彼らは勝利を収めたのでした。彼らは血を流して死に、その命を与えました。何故?それは種(子孫)でした。それはまず地面に落ちなければなりません。ヨハネ12章が語ってくれています。「一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それはただ一粒のままである。しかし、もし死んだなら、豊かに実を結ぶようになる。」しかし、その宗派は、そのいのちがまだそこにあることを知りませんでした。しかしながらその教会自体は…

72 そのニカイア公会議で、15日間の血の気の強い政治家の議論の中で、彼らの貴族がやって来た時、これらの大きな要人を教会に投入したかったのです。そして、預言者たちは荒野から出てきて、薬草を食べ、動物の皮に包まれたいた、本物の預言者であり、ニカイア公会議の人たちは預言者達を捨てました。何故でしょうか?種は地に落ちなければなりません。それは死ななければならぬのです。

それは暗黒時代に死に、地下の暗い埃の下に。彼らはそれがなくなったと思った。ご存知のようにヨハネ12:24で、イエスは言われました、「一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それはただ一粒のままである。」と。そしてその初代教会は、再現された物で、その花嫁、その種、御言葉が現された物でしたが、それがローマのニカイアの地に落ちたのでした。

73 国中でこれを聞いている教会の皆さんしっかり聞いてください。そこにはあなたの汚れがあります、彼らが宗派なのです。みことばが十字架にかけられたところがあり、そして彼らは教義を受け入れてしまいました。そして暗黒時代の何百年も何百年もの間、みことばの力とその顕現は世界から隠されていました。カトリ

ックのみが支配していたのです。私たちは皆、それを歴史を読んで知っているのです。カトリックのみが支配していた。

しかし、あなたは、あなたは、発芽した種子を隠すことはできません。何故ならば偉大なる彫刻家である神が仕事をしているからです。彼は再び建ちあげるおつもりです。だから彼は…種は降りて行きました、それこそがみことば。

74 聖パウロ、ペテロ、ヤコブ、ヨハネ、みことばを書いたすべての人たちを我々が見る時。そして彼らが書いた、彼らが書いたことばは生きようになり生きてそれを生きたのでした。そして、それが熟し始めるとヨハネは書簡を書き始め、油の中で24時間燃やされた後、パトモス島に島流しにされたのでした。しかし、御言葉は出なければならぬのです。それは書かれなければなりません。彼らは聖霊を油で沸かして取り出すことはできなかつたので、彼は出てきました。彼のわざはまだ終わっていませんでした。彼は老衰で死にました。

ヨハネの弟子であつたポリュカルポスが御言葉を運び続けました。そして、ポリュカルポスからエイレナイオスが出ました。そして、私たちが信じている「みことばは熟している」と同じ福音を信じた神の偉大な人、エイレナイオス、教会はそれを絞りだそうとしています。

75 ついにそれはローマのニカイアに来て、そこで彼女(教会)は聖マルティンの後、地面に落ちて、殺されました。聖マルチンは私たちが信じているのと同じことを信じていました。彼は同じことに対して立ち上がっていました：聖霊のバプテスマ、イエスの御名による水のバプテスマ(洗礼)。彼は私たちがするのと全く同じことをしていました。そして彼は預言者であり、神のことば全体を信じていました。そして最後に彼らは十字架につけられ、地面で砕かれ、何百年もの間腐るまでそこに置かれていました、それこそ種なのです。古い遺体は腐ってしまいました。私は聖アンジェロのカタコンベに行つて、彼らが死んだ場所や、砕けた骨やその他すべてを見てきました。それらはついに彼らの骨がなくなるまで腐敗していました、しかし生命はまだそこにありました。

76 ニカイア公会議で地に落ちた小麦の粒は、マーティン・ルターで再び芽を出し始めたのでした。どんな粒でも上がってくるようにまたは小麦のように。種が腐った後、生命が湧き出してくるのです。そして、それはマルチン・ルターに現れ始めました。さて、彼はまず何をしたのでしたか？カトリックの宗派を拒絶し、それが間違っていると抗議しました。彼が言った「義人は信仰によってのみ生きる」それは何でしたか？いくつかの小さな芽吹きを立てる少し弱い命。それがルターだったので。それは地に入った粒のようには見えませんが、その生命は今出てきています。

それからそれは茎に行きました。その後、何が起こりましたか？ジョン・ウェスレーの時代に、彼が聖化をもたらしたとき、彼は何をしましたか？彼は御言葉と共にありました。そして、それは何をしましたか？ルター派が組織化して組織を作ったので、何かが起こる時が来ました。傑作は現在建設中なのです。彼は何をしましたか？彼は何をしましたか？彼は英国国教会が房として改革に出てきたことに抗議しました。それは何でしたか？種は生命に来て、今成長しているのです。

77 さて、茎は種のように見えません。房もそうではありません。

さて、諸国に居るペンテコステ派の兄弟たち、私の兄弟よ、あなた方に聞いてほしいのです。これが私が今まで説教する最後のメッセージであるなら、これは私の傑作です。麦の粒がいつ地に落ちたのか、それが再びその粒に戻り始めたことに気づきましたか？

自然を見てください。自然はまさに神です。神は自然の中で働いています。それが神がお出来になる全てなのです。しかし、ペンテコステ派のリバイバルから、彼らが考えたのは、それは種子でした。しかし、そうではありませんでした。見てください。しかし、種のように何かが出てきていました。さて、イエスがマタイによる福音書第24章24節で「にせキリストたちや、にせ預言者たちが起つて、大いなるしるしと奇跡とを行い、できれば、選民をも惑わそうとするであろう。」と言われたことを見てください。

78 さて、その茎は種のように見えません。房も種のように見えません。しかし、ルターの時代にではなく、終わりの時である今気づいてください。

まず最初の事は、ここには小麦農家があります。小麦の種子で最初に出てくるのは、それは種子だと思つているかもしれませんが、それは殻なのです。それは、種を守るようなもので、小さな外側のもので形成します。それは殻を形成します。しかし、殻は種ではなく、房や茎にすぎません。それは、生命の担い手であり、

小麦の粒になるのです。ヨハネによる福音書12章、イエスが話しているのが分かります。

79 麦は、房の後に(ウェズレーの後)、殻を出します。これは、他の何よりも粒によく似ているように見えます。殻は粒に良く似ています。それはいつも粒のように来ています。それが地に入っていくものです。そして、出てくるとき、茎、生命はありますが、それは確かに粒自身ではないのです。房が出ているとき、花粉もありますが、粒ではないのです。そして、それは殻から出て来ます、そしてそれは麦の粒のようにちょうど麦の形をしています、しかしそれは麦ではありません。ちょうど同じ形で、完璧に。

ペンテコステ派は麦と同じように出てきます。それぞれがお互いから出て来るのですが、彼らは単なる運び役なのです。彼らは宗派に行きます。そして、それがペンテコステがしたこと、宗派を作ってしまった。そして、ちょうどその粒が出て来るとき、ペンテコステ派は何をしましたか？それは黙示録17章のように、姉妹の宗派の一つに戻っていったのです。まさにその通りなのです。それがイエス様の言われたことです。

80 見てください。福音はルターを通して、ウェズリーを通して、ペンテコステに出て行くでしょう、そして、それが終わりの時に、可能であれば、選民さえも欺こうとするのです。選ばれた民！ペンテコステ派の兄弟たち、分かりませんか？

麦の最初の始まりは種のように、種のようになり始めますが、それは殻なのです。それは、彼らはここでルターでやったのと全く同じことをして宗派を作ったのでした。黙示録17章では、教会についても同じことが証明されています。

さて、オリジナルの中にあつた穀物の種は、最初の宗派だった、ニカイアに落ちました。

ここで注目してください、茎、房にあつた生命はすべて種子の中に行くようになり、元の種から出て、異なるプロセス(3つの異なるプロセス)を経て、元の状態に戻る生命が来るのです。ハレルヤ！ああ、何と言う事！私は世界で最も幸せな人です、神が私にこれを見させてくれたのですから。御言葉とこれら(自然)がいかにともに働いて完璧になるかを見て下さい。

81 復活を証明するように。昇る太陽。日の入り；再び登っていくのです。

木から出て行く葉、根への樹液。葉は再び上に戻ってきます。それは地に落ちます。木の命はそれをすぐに吸い戻し、カルシウムとカリウムを吸い取り、再び別の葉に持っていくのです。

神のことばによって、すべての自然、すべての事がうまく機能するのを見て下さい。そして、ここに、正に、これらの教会時代に完璧にあるのです。それが聖霊が降りてきて、それらを引き寄せて、私たちのために彼のように彼らを導き出したのがその理由です。それは正確です。

82 ここで、殻の中にあつた生命に注目してください。茎と房の中、殻の中は、すべて種の中に集まっています。そして、茎にあつた生命は行きました、一方は行ってもう一方を作りました。義化、聖化の道を作った。聖化は、聖霊のバプテスマのための道を作りました。聖霊のバプテスマは、聖霊自身が完全に降りてきて、再びみことばに戻り、それ自体を顕現する道を作りました。

しかし、宗派になったものは死にます。ちょうど命のように、ルターがウェズリーを作りました。そして、そして、そして、ウェズリーから、ペンテコステに行きました。そして、ペンテコステ派が、元の種を作るようにしたのでした。ペンテコステは、その時までにはウェズリーから出て来るのです。ペンテコステがウェズレーから出てきた理由は、それが宗派ではなかったため、ペンテコステだったです。それからペンテコステは宗派を作りました、そして、それは殻に変わってしまったのでした。それは本物のようには見えませんでした。

83 そして、誰か、何人が麦の種子が成長し始めるのを見たことがありますか？最初の小さなこととは何ですか？それは種に正にそっくりなのですが、殻なのです。

3つの段階が分かりますか？茎；房、または花粉；それから殻。そして、殻からオリジナルの種子が出て来るのです。分かりますか？種そのものではありません。それは種の命であり、種を通して育つのです。アーメン、アーメン！分かりますか？それは何ですか？復活、入ったのと同様の傑作に戻るのです。

ペンテコステはウェズリーから出たのです、と言うのはウェズリーが組織だったからです。ペンテコステは組織として出て来なかったもので、そしてその後組織化しました。殻を作るには、それが必要でした。その上にある真の命の言葉は、これらの段階を経て、元の粒に道を通っていたのでした。茎を通り、花粉に入る。花

粉から、殻の中へ。そして殻から、種が作られたのでした。

84 違うのです、茎、房、殻、生きています。それらは(彼らの初期のリバイバルで)種の生命のある部分の持ち主を生み出しました。しかし、彼らが組織にしたとき、生命はそれから出てしまったのです。それはすべての歴史によって証明されています。組織は、組織化した後に何かをしたことはありません。それは死んでしまったのです。そうです。

見てください、その命は今旅をしています。それは進んでいます。

彼らがやったこと、これらすべてがやったことに注意してください、教会が来た方法は同じように歴史によって証明されます、二度と彼らは主の役に立つことはありません。組織は棚の上に置かれるのです。すべての歴史において、教会が組織化された後、教会は決して続かずに死にました。そして組織は死に、二度と復活することはありませんでした。それが分かりませんか？目の見えない人は、目を開いてください！自然とみことばが協調して、ここにこれが真理であること、それこそが真理であることを証明します。そのいのちは茎を離れ、房を作ります。房から殻を作ります。そして殻から、それは再び元のものに入るのです。注目してください、二度と彼の役に立つことはありません。

85 この命は、麦の粒が旅している中で、木の中に居るのと比べてそれほども顕著なのです。神は彼の民を木のように召命されました、ほら、命は木に落ちて、また戻ってきます。分かりますね、下に下がって、上に戻ってくるのです。しかし、麦の粒では、それは元の茎から、茎、房、および殻を通して上がってくるのです。そしてそれが通り抜けたものは死ぬので、二度とそれを通り抜けることはできません。それは何ですか？もうそうになると何にも使えなくなるのです。それは完璧な方向に行くのです。

アーメン！彼が組織を決して使わなかった理由がわかりませんか？彼は再びそれに戻ることは出来なからなのです。それは死んでいるから。しかし、いのちは次から次へと受け継がれます。ほら、彼らは信条を入れて、投入します。「誰でも一つの言葉を加えるか一つの言葉を取り出すならば。」分かりますよね、彼はそれからブロックされています。それは旅をする生命の種でなければなりません。

86 わたしはこれを、近づきつつある傑作である花嫁のたもととして今使っているのです。傑作が墮落した時に、他の傑作が昇ってくるのです。傑作はペンテ、ローマ、ニカイアに落ちて墮落させられました。ローマのニカイアの後、彼女はプロセスを経て来ましたが、彼女は再びその傑作に戻ってきました。完成したのは、彼女が彼によって語られた御言葉の一部だからです。彼は「しみやしわのない教会」を持つことになるのです。それはいかなる種類の組織や宗派つまり呪われた物とは関係ないのです。それはそれらのものを通過しますが、決してそこに居ることにはならないのです。

87 種が上がって来て、生命が立ち上がるのです、戻ってくるのではない事に注目してください。これ以降には、復活はありません。生命は立ち上がっていて、完全な復活へと向かっています。

注目してください、殻が出て来ました ……注目してください、殻は元の種子をそれ自体から外そうとすることです。黙示録の第3章でこれが見つけられます。

さて、覚えておいてください、彼は他のどの教会からも聖書の中で、七つの教会時代から追い出されてはいませんでした。何人が覚えていますか？彼は教会時代を通して、何か他のものを作り続けていました。しかし、これがそれなのです。他には何もありません。しかし、彫刻家は再び完全に戻りました、御言葉なのです。分かりますか？戻らないでくださいね。どれほどの違いがあるかと言うとはい。ああ！

88 そして、その殻が出てくると、粒のように見えます、気が付いてくださいね。しかし、粒の生命が殻を離れ始めたとき、粒(花嫁)を作るために入ると、殻が開いて粒を破門するわけです。正しいですかね？その性質、それこそまさに彼女(組織の教会)がしたことです。

黙示録3章で、私たちはラオデキア教会時代が彼(イエス様/御言葉)を追放したことを発見します。さて、他の時代では、そんなことはなかったのです、と言うのはまだ何か作られていなかったからでした。それはただ通り抜けて、別のものを続けて行ったのでした。今までずっと話してきましたが、もう新しい宗派が来ることはないのです。我々は終わりの時に生きていますから。そして彼らは彼(主イエス/御言葉)を外に出しました。(どうしてでしょうか？)彼は一御言葉です、再び言いますが、彼はそこに倒れた者のようです。彼は初めに出てきたときと同じ教義なのですから。

そして種の言葉が成長し始めると、殻はそれから離れていくのです。それに従うために命は他のすべて

から離れるのです。それが真の信者です、彼らはその命がどこへ行ってもその命に従います。

89 イスラエルのように、それは完全な類似系なのです。時間があれば、私に残されているのはあと数分です。しかし、完璧なタイプでは、初めにあらゆる場所に行った、火の柱こそが生命でした。神はその光だったのです。そして、それが真夜中だったのか、それとも彼らが適切に選ばれた場所に居たのかどうかは気にしません。その火の柱が動いたとき、ラツパが鳴り、イスラエルはそれと共に動いたのです。

ハレルヤ!そして、そのラツパが鳴ったとき、マルチン・ルターはそれとともに去りました。そして彼が組織化されて、それを殺しました…彼自身ではありません。彼の後継者。そして、神はそれから生命を取り去り、それを運び、墓に置かれたのです。

それからウェズリーが出てきます。彼は大きな組織を見て、そして彼は聖化のラツパ、もっと多くの御言葉を鳴らしたのです。分かりますか?彼がそうしたとき、彼らは外に出て、ルターからすぐに、メソジストに移りました。

そして、ペンテコステがそれを見たとき、彼らは、ラツパを鳴らしました、それは賜物の召還の時です。彼らがしたことが分かりますよね?彼らはラツパを鳴らし、出て行った。それから彼らは組織を作り上げてしまいました。

しかし、覚えておいてください。殻のあとには、私たちが知っている3つの段階があります。そこには粒以外何も残らないのです。おお 神様!そしてその粒はそのすべてから出て来るのです。アーメンそしてアーメン!種の言葉はそれ自体で形成し始めます、生命はそこから出て来るのです...さて、注目してください、もし花婿、初めから、最初に、花婿が…これは前に出て来る花嫁のことなのです。

90 覚えておいてください、教会はペンテコステ(五旬節)で始まり、それはニカイアで落ちました。それは本物の穀物のようではなく、発芽しました。それにはその生命の一部がありました、しかしそれは組織を作るために発芽しただけだったのです。そして、彼(主イエス)はその組織を凌いだのです。そしてそれは何をしたのですか?それから、それは、その組織から、別の組織に入り、御言葉の別の段階に入りました。義化、聖化、聖霊のバプテスマです。分かりますか?そして、それがこの茎と過程を経るにつれ、それはさらに進み続けました。

覚えておいてください、小さな花粉はより多く、房は茎よりも種子に似ています。そして、殻は房よりも種子に似ています。しかし、種子自体はそれをはるかに超えています。分かりますか?それは運ぶためにそれを使って、それ自身を通り抜けたのです。

91 注目してください、花嫁。花嫁が初めに、みことばまたは花婿であった場合、そしてもし花嫁が花婿からとられたなら、それも御言葉でなければならないわけですよね。注目してください、花嫁はそうでなければなりません。

なぜ、花婿はみことばを現し、明白にされなければならないのですか?と言うのは花嫁と花婿が一つだからです。彼女はただ彼から打たれて取られた一片なのです。そこに傑作があります。それは打たれていました。言ってください....

ミケランジェロはそれを再び再現することはできませんでした。彼はそれを戻すことはできませんでした。

しかし、神はそれを行われるのです。彼は、この小さな花嫁、打たれたものを、元の御言葉のすぐ側に連れ戻すのです。そして、彼こそがそれなのです、エデンの園に戻った家族の傑作があります。

92 この花嫁はこれをどのようにするのですか。この妻はこれをどうやって行うのですか?マラキ4章で、終わりの時に、それは回復される(何が?)初めからのものに回復されるのです。取り戻せ!と言っています。わたしがあなたがたに送った大軍、すなわち群がるいなご、とびいなご、滅ぼすいなご、かみ食らういなごの食った年をわたしはあなたがたに償う。と主は言われました。私は再び償って戻すのだ」と。マラキ4章では、「彼は父の心をその子供たちに向けさせ回復させ、信仰の人々の心をその信仰のもととの父達に向けさせる。」と言っています。分かりますか?教会の皆さん、私たちはこれを目の前に見ているのです。我々は今どこにいるのでしょうか?

93 さて、数分で終わりになるのです。何がちょうど起こっているかについてしっかりと近く本当の終わりに気が付いてほしいのです。

マラキ4章は戻ること、元々のものに戻るためなのです。

彼女は教会から、教会の体から打たれています。彼女の主人と同じ目的のために打たれたのです。彼女は御言葉なのです。ヨセフは御言葉であったので、彼が兄弟たちから打たれてすてられたのとまったく同じなのです。そしてイエスは御言葉だったから、兄弟たちから打たれたわけです。その教会は打たれるのです。…花嫁は教会から打たれ追放されます。なぜなら、彼女は御言葉だからです。さて、もう一度あなた方には段階があります。1、2、3、まさにその通りです。

94 御言葉、生きて行動している聖書の花嫁、人工の花嫁ではありません。聖書の花嫁、神に打たれ苦しめられた者達。「彼女には慕うべき美しさはないのですが、それでも私たちは彼女の打たれ、神に苦しめられていた姿を尊敬していました。」そうなのです。彼女はたった一人で立っているのです。黙示録3章によれば、彼女はすべての宗派から打たれているのです。彼女は彼女が育ったラオデキアの教会時代から打たれて追放されました。わかりますか？この教会はラオデキア教会時代に立てられました。それが殻なのです。しかし、他の人が行った場合…

もし他の人が殻で死んでいたら、ペンテコステ派の人はそれがわかりませんか？もし他の(茎)が死ぬなら、房が死ぬなら、殻も死ぬはずです。組織の3つの段階。

覚えておいてください、「さて、今、たくさんの方々がぶら下がっていました。これはたくさんあります。」そう。メソジスト、バプテスト、長老派、ルター派、チャーチオブクライストなど、そこに落ちるこれらすべてのきさいなことや、葉、その他すべてがそれにぶら下がっていましたが、元々は改革でした今それがわかりますよね。

95 花婿のように、「人を拒絶し、教会を軽蔑し、拒絶した」状態でしっかりと立ちましよう。花嫁はそのように立っています。それは何ですか？それこそが彼の傑作です、彼が働き、顕現することができる御言葉なのです。拒絶している！

だから、茎、房、そして殻は決して種になることはありませんが、常に種のようになるのです。

さて、収穫の時にあって、種は元の命に戻り、聖書に戻るのです。マラキ4章ではそれがもたらされるだろうと語っています。ああ、ああ、何と素晴らしい事！すべてを持っていなければ！このようになるには、みことばをすべて備えていなければならないのです。そうですか？[会衆は「アーメン」と言います。— 編集]

96 さて、黙示録10章で彼は何と、何が起こると言われましたか？なぜツォンへの旅だったのでしょうか？教会を開くためでした。「メッセンジャーの時代、第七の御使い、第七の御使いのメッセージの時に、神の御言葉全体が明らかにされます。封印、すべての茎が去ったこと、それについてそしてすべてについて、この時に明らかにされるのです。」

それが御言葉が語ったことですか？[会衆は「アーメン」と言います。— 編集。]そして、それがわかります。それで、今我々はどこにいるのですかね？唯一言える事は、収穫はもうここにあると言う事です。彼女は完熟しています。彼女は今、主の再臨のための準備ができています。注目。

97 違うのです、それがそれにはなりえないのです。収穫時、種は元の状態に戻り、また、種(子孫)になるためにはすべてのことばがなければなりません。さて、あなたは半分の種子を持つことはできません。それは育たないのです。わかりますか？それは種子全体がなければなりません。そうじゃなければ、現れないです。言ってください。「私は聖霊のバプテスマを信じています。ハレルヤ！私は異言で話すことを信じています。」それは種の一部です、ええと、しかし今、そこに追加されているのです。ハレルヤ！わかりますか？命ではなく、命。賜物の人生。命の賜物の数々分かりましたね私の言おうとしている事？兄弟達、私たちは終わりの時に生きているのです。

今、茎、房、殻は乾いて死んでいます。それに起こらなければならないことが一つだけあります。それは世界教会協議会の中に焼かれるために集まることです。

98 御言葉は肉体を取られたのでした。ルカ書17章、マラキ書4章で約束されたとおりです。そしてすべてがわかります、その通りなのです。黙示録。

茎、房、殻にあったすべての真の命が、種に集まり、復活の準備ができ、収穫の準備がされているのです。アルファはオメガになりました。アーメン。先の者はあとになり、あとの者は先になる。その中に入った種(子孫)はプロセスを経て再び種(子孫)になりました。

その種はエデンの園で墮落してそこで死んだ種が戻ってくるのです。そこで死んだ不完全な種(子孫)から、完全な種、第二のアダムに戻って下さい。

99 最初のエバが墮落して、2番目の改革で使われました。再臨のために子供達をもたらしたものは、再び真の花嫁になりました。その種(子孫)は、元の言葉とともに再び戻ってきました。

アルパとオメガは同じなのです。「全て…」彼は「私はアルパであり、オメガである」と言われました。その間には何も言われませんでした。ええと。「わたしはアルパであり、オメガである。最初の者であり、最後の者である。初めであり、終りである。」はい。

最初のミニストリーと最後のミニストリーは同じなのです。最初のメッセージと(2番目の)最後のメッセージは同じものです。「私はアルパに居ました。私はオメガにいます。」「そこには長い連続した日がある(主はこれを知られる)。これには昼もなく、夜もない。夕暮になっても、光があるからである。』ほら、アルパとオメガ、それがはじめと終わりとなります。ああ、私の兄弟たち、私たちは何時間もそこに居ることができました。

100 家族の偉大な傑作である第2のアダムと第2のエバは、今、その園、至福千年、アーメン、地球に戻るための準備が整っています。ハレルヤ!偉大な彫刻家は彼らをそこに置き去りにはされませんでした。彼は何百万年もの間、最初の完璧なカップルを形作るように、時間をかけました。そして彼らは墮落したのです。さて、それは数千年を経て、彼は再び形成されました、そして今ここに彼らは準備が整っているのです。

傑作が来られて、打ち倒されました。彼の側から助け手が来るのです。

そして彼女は同じプロセスで連れて来られます。今、彼女は再び戻ってきました。すべての自然、聖書、そして他のすべてのものが、私たちが居るこの場所を示しているのです。

国々は崩壊し、イスラエルは目覚めています、  
聖書が予告したしるしの数々。

異邦人の日々が数えられています(私たちが手に入れたこのゴミの集まりを見てく  
ださい)馬鍬によって邪魔されているのです、  
戻り、散らされて、あなた自身に。

そうです。もし行くなら、もっと早くそこに入った方が良いでしょう。

約5分で終了するように見直ししています。

101 家族の素晴らしい傑作に注目してください。夫と妻は、一つにならない限り、真の家族になることはできません。彼等は一つにならなければなりません。そうでなければ、彼らは良い家族ではありません。妻は一方に、夫は別の方向に引っ張ることになります。そうなったらひどい家族になるでしょう。しかし、一致して、お互いへの愛を持つならば、それこそが家族です。

そして今、それこそが神の傑作であり、今ここに居るすべての真の家族がそれを表しています。分かりませんか?そして今、傑作家族が再び来ているのです、キリストと彼の花嫁、再臨への準備が整っています。第二のアダム、第二のエバは、彼らの故郷に戻る準備が整っています。そして全体像は贖われているのです。それがどこにあったのか、それを元に戻し、見てください、ちょうど正確に再び元に戻されています。その後…

102 先日、クリスチャンビジネスマンの集まりでここで立ち上がっていました。皆さんの多くもそこにおられたと思います。私がルター派の司祭、または説教者、またはそうだと思われる人が、そこに立ってそのばかげたことを言い、私たちが信じていることをからかったのを聞いたときでした。その人がいたその場所は、フルゴスベルビジネスマンフェローシップでそこでそんなことを言っていたのです。彼は襟カラーをひっくり返して着ていました。彼らの多く今そのような事をしてしています。そして、彼は言いました、「今、人々はなぜ私が襟カラーをひっくり返すのかと聞かれます、そして言いました「彼らはどのようにしてカトリックの司祭からあなたに言うことができるのか。」と「違いはないし、あるべきではない」と言いました。彼は言いました、「私たちは皆神の子供です。」彼は言いました、「どこにでも存在することができる遍在するカトリックの司祭を知っています。」

103 さて、あなたは全知者にならなければ、遍在することはできません。神は遍在者でさえないのです。神は全知全能です。彼は遍在する全知者であり全能者でもあります。しかし、存在であるためには、彼は一つの存在にならなければならないのです。全知全能であることによって、彼は遍在することができます。と言うのは、彼はすべての事をご存知です、世が始まる前でさえ世界が始まる前から、彼はノミ、シラミ、虫の数、そして彼らが瞬きした回数、そしてそれに関するすべてを知っていました。なぜなら彼は遍在しているからです。

あなたは、全知であることができません。無限になることなしには全知にはなれないのです。そして、無限のものが1つだけあります。神様です。アーメン!そして、私たちは…

104 それは何ですか?それは悪魔です、彼らをその虐殺に直行させるのです。彼らの一人一人が、正に聖書が言っていたとおりに進んでいます。そしてここに、ペンテコステ派の人たちがいます。真っ直ぐに引っ張って行き…何という時代!

ああ、そのテストimoniーを聞いた後、誰かが私に言いました…I—I…あまり言わなかったのは良い事でしたと言うのは、彼らは多分そこで私を刑務所に入れたでしょうから。しかし、私はただ「ほらね」と思っていました。

教えられた人々は知っています。「その日、賢者は彼らの神を知るでしょう」とダニエルは言いました。はい。「賢者は彼らの神を知るでしょう。」ね。彼らはこれらのことをしっかり見えています。

しかし、私がそれが起こるのを見たとき、ペンテコステ派は彼と共にそこに立っていました!オーラルロパーツでさえ私をそのように見たのでした。私は言いました「アーなんてこと!」とああ!しかし、教育されて磨かれた状態の人たちがそこに立っていましたね。

それは神が彼の民を磨く方法ではありません。彼(神)は教育で彼の人々を磨いたりしません。彼は謙遜さで、彼の顕現した言葉の力で、それがそこから来た粒の形を見せて磨くのです。

105 さて、誰かが私に「ブラナム兄弟」「私はあなたについて理解できないことが一つあります。」と言いました。

私は言いました「それは何ですか?」

ホールの中に立って…おそらく、私はビルと握手し、そこに立った後、ドーフ姉妹と彼らだと思えます。そして、すべてが角を曲がりました、そしてかなりたくさんの人々が居ました。あるミニスターは襟カラーをひっくり返してを彼の方に押してきましたそして言ったのです。「なぜあなたはいつも人々を怒鳴りつけているのですか?」彼は言いました、「彼らは人々があなたが神のしもべであると信じて、そして彼らとすべてに優しく甘いと信じているんです。」と。「あなたが演壇に上がるたびに、女性がびくびくしています、髪が短い事について、そしてショーツを履くことについて、そして化粧品をすることについて、そして他のすべてのもの。そして人々を怒鳴り散らし、彼らがどれほど冷たく、形式的で無関心であるかを彼らに告げている。」と言いました。「何故そんなことをするんですか?」と言いました。「彼らはあなたを愛しています。と言うのです。どうすれば愛ある神の子供が、そのようなことをすることができるのですか?」と

私は考えていました、「主よ、この賢い人にこたえさせてください分かりますか?あなたが私を使って彼に答えさせてください、どこかで彼は彼自身のロープにぶら下がるでしょう。」そうですね。

私は「まあ」と言いました、「あなたは、ベートーベンと呼ばれる偉大な作曲家と呼ばれる偉大な音楽プロデューサーについて読んだことがありますか?」

彼は言いました、「ああ、確かに、私はベートーベンについて読みました。」

私は言いました、「彼はおそらくゴミ箱いっぱいスクラップ紙を引き裂いたりもしていました、しかし世界傑作を作り上げました。」彼は口を開かずに、また別の言葉を言いました。私は言いました、「彼はインスピレーションの下で彼の書斎に座っていたとき、彼は何かを書き留めていました。彼は書斎に行って祈るのです。それは正しくなかったのですそれで、彼はそれをスクラップにしてゴミ箱に捨てました。しかし、その経験を乗り越えて、すべてのインスピレーションの中で、世界は傑作を持っていました。」

ああ、みことばがいかにカットされても、それが傑作を生み出すのです。つまり、すべての殻と茎を取り除くことによって。それは傑作を生み出します。

106 ここを時間通りに出るために一昨日起こった何かを皆さんに言うためにあと7分あります。7月3日、私はここで座っていました。このセンターのちょうどすぐそばにあるショッピングセンターでの事でした。私はピガール、ローマ、フランス、そしてニューヨーク、ロサンゼルスに行った事があります。しかし、私が今まで見た中で最も汚い女性の集まりはインディアナ州のジェファーソンビルででした。私は彼らの中で人々の間に見たほど、わが人生の中でこれほどの多くの穢れと汚れを見たことはありませんでした。私は心が痛みが来たのでそこで座っていました、そこで主は私にビジョンを与えられました。

さて、私はその幻について語るつもりです。どう解釈できるかわかりませんが、私は初めてその幻について話します。

107 私はトランス状態に陥りました。そして、私がそうなった時、誰かが一緒にいました。私はその人を見てはいませんでした。それは声だけだったのです。そして私は一私は見ました。そして私がこのように見たとき、彼は言いました、「花嫁がプレビューのために見えてくるでしょう。」と

そして、私は見て、私のところに来て、私が今まで見た中で最もきれいな服装の女性の集まりの中で最もきれいな集まりを見ました。しかし、彼らの一人一人は、異なった服装をしていたように見えました。彼らは皆長い髪をしていました。そして、より長い袖のものとスカートなどを着ていました。若い女性達は、彼らは優しそうに見えました、多分20代くらいだと言えます。

さて、ここで聖書を開いています。わかりますか？私が唯一言えるのは見たものの事です。

「何を見てるの？」と言ったら私は時計を見ています。「あなたが探しているものは？」私は人を探しています。人々を見ています。「あなたは何を見ていますか？」私は聖書を見ています。その通りなのです。私は真理を語っています。それが私が見るものです。そして、私は私が見たものの事だけを言うことができます。私は知りません。それについてのすべての事は知りません。ただ、私は伝えなければなりません。

108 しかし、この花嫁のとき、彼女は…一人は私に話しかけていました、そして私は一緒に立っていました。彼女の目は、私が今まで見た中で最もきれいで、優しく見える人々でした。12人かそれ以上だったかのように見えます、ただ…どれだけの人が並んでいたのかはわかりませんが、彼らのグループの中にちょうどいたのです。彼女は優しい空気とともに通っていきました。そして、彼女が通り過ぎた時に、彼女は目を見上げていました。ああ、彼女はきれいでした！私は彼女を見ました、そして彼女は通り過ぎました。彼は言いました、「さて、私たちは復習しましょう...」「それが花嫁です。」と言いました。

「さて、これからその教会(複数)について復習します。」そして彼らは来たのでした。私は彼らが近づいてくるのに気づきました。そして、彼らが現れたとき、それぞれが、より酷くなったように見えました。こんな汚い房をわが人生で未だかつて見たことがない。

そして彼が「次へ」と言われた時、私はその音を聞きました。そしてそれは「次は」と言って「アメリカ人のグループがやって来る」と言いました。

109 さて、私はアメリカ人ですが、一これは気分を悪くさせるのです。私は、混成聴衆の中で、何が起こっていたのかを語るほど雄弁ではありません。I—I—I…そして、行間を読む必要があります。しかし、その女性が来たのですが、彼らのリーダーは魔女でした。彼女は大きな長い鼻と大きな大きな口を持っていました。そして彼ら全員はここで下着のようなものを着ていました。しかし、上はストラップがあっただけでした。それは小さな、約0.5インチのストラップで、このように動き回っていました。そして、女性たち一人一人は決まりごとのように何かを持っていました…

何年も前に、多くの皆さんが、私たちが新聞を切ったり、古いフライブッシュを作ったりしていたことを覚えていますか？何人が覚えていますか？ご存知ですよ。それをカーニバルで彼らがそれを使う理由をあなた方知っていると思っています。そのようにぶら下がって、縁取られた紙、レース紙。

彼らは何かを彼らの下に持っていましたが、このように、彼らの下に保持しています。この部分はすべて公開されました。

そして、一人一人が髪を本当に短くカットしていましたが、そしてその至る所で縮れた様なもの、そのような本物のショートカットの髪。メイクもいっぱい。まるで本当の売春婦のようでした。

そして彼らはこの紙を持って歩いていました、何と下品であることか！さて、その紙は彼らの前に持っていたものでした。しかし、彼らがレビュースタンドを通過したとき、彼らの後ろに…そして、彼らが進んでいる方法、彼らの最前部と後部で彼らがどのように行動していたかを見るために！

私は言いました、「それは教会ですか？」

110 そして彼女はそこに行きました。そして、彼らはここでこのツイスト&ロールの歌を歌っていました。あるいは、あなた方が何と呼ぶのでしょうか、落ちるとかそういう類の音楽です。

私は言いました、「それは教会ですか？」そして私はそこに立っていました、そして私の心は泣いていました。

そして、この魔女、私の考えでは、世以外の何者でもありませんが、彼女は…彼女はその教会の世界キリスト教会協議会であり、彼女が行っていた道をまっすぐに彼らを導きました。彼らは左に行って、混乱の中で姿を消しました。まだこの音楽を打ち負かして、本当の面白い音を出して、彼らの体を片側と次に反対側に振り続けているのです。。そして、そのように、そのように続けて運び 歩んでいるのです。

111 そして私はちょうど頭を下げ始めました、そして彼は「待つて、その花嫁はまた来なければならない」と言いました。

そして私は見ました、そして、彼らは再びここに来るのです。そして、彼らは通り過ぎました。優しそうな若い女性達。彼らは通り過ぎるとき、皆私をまっすぐに見ていました。そして、私はそれぞれが異なった服を着ていることに気づきました。そして後ろの人は長い髪を垂らして、このようにぐるぐる回っていました。ドイツ人か何かだったのかもしれませんが。そして私は彼らを見ました。

そして、彼らが去り始めたので、彼らのうちの2人か3人は、後ろ側に居ました、ある意味、階段から降りて、私は彼らに向かって叫んでいました。そして、彼らは再び歩みを戻そうとしていました。そして、私は彼らを見て、ただその幻が私の法から消えかけて変わりました。

112 さて、これがそれに関しての解釈です。その理由は…さて、覚えておいてください、私は書き終えたばかりでした…まだ書き終えていなかったの、まだこれらのメモを書いていませんでした。しかし、説教の中で、今朝、私はそれが何であるかを自分自身の説教の中で捉えました。お気づきでしょうか、教会が見えてきたのは…

さて、それが真理なのです、友の皆さん。御言葉を書いている天のお父様は、わたしが真理を語ることを知っています。分かりますか？ただ真理を言うことを自分で分かっています。

そして、ほんの数分前までそれを知らなかった、のようでした、または最近ですね。気づきましたか？花嫁は2度見えるのです。最初の種(子孫)と2番目の種(子孫)はどちらもまったく同じものなのです。そして、彼らが流されていた理由は…異なる部分で衣装を着けて、全ての国々出身の者達が居て、それが花嫁を形作ることとなります。一人一人が長い髪をして、化粧をしておらず、本物の可愛い女の子達でした。そして彼らは私を見ていました。それはすべての国々から出てくる花嫁を表しています。分かりますか？彼女は、彼らがみことばと完全に一致して行進していたとして、それぞれがある国家を代表していました。分かりますか？

113 そして、その時私は彼女をしっかりと見なければなりません。もし私がしっかりと見なければ、彼女が通り過ぎるとき、彼女はそのみことばから外れるでしょう。たぶんそれは私の時代の事になるでしょう、私の時代が終わるときね。終わった時あるいは何であれ、それは。

何ですか？彼らは戻ってきていました。彼らの最善を尽くして、戻ってきました、ただ列に並んでください。なぜなら、彼らは他のどこかを見ていて、混乱した教会を見ていたからです。しかし、二人…前の人たちは絶対に。後ろの方たちは、彼らの2人か3人がちょうど小さな方向の右手側にある意味降りようとしています、そして彼らが元々いたラインにもどろうとしています。彼らはちょうど私を通り過ぎた、ああ、壁までこまで、私を通り過ぎた。そして私はそこに立っていました。そして、それから私はそれがすべて外に出て去るのを見ました。

しかし、あなたが気づいたのは、教会が一度しか見えなかったということです。しかし、花嫁は二度来ます。ほら、ほら、それは実際は何だったんですか。さて、私はそれを知りませんが、今朝の私のメッセージそれぞれ見て下さいね。それを知らない。分かりますか？

114 種子(その子孫たち)はニカイアで地に落ちました。それが最初の種でした。そして、彼女はこれらの宗派の過程を経て来ましたが、それは存在します、一度の存在の時にのみ来ているように煮えます。」しかし、花嫁は終わりの時には再び戻ります。。「私が回復させる。」ほら、その傑作は出て来ているのです。それが彼女が二度目に見られ、見直された理由です。彼女は最初に見直されました、そして、彼女は二度目にも見直されました。そして、彼女は2回目に初めの時と同様に完璧でした。オー神様、憐れみを下さい！急いで、急いで、急いで、命がその粒の中に入った、即座に！ええと。

115 もう何もこれ以上に現れる事はありません。彼らは出て行き、二度と戻ってこない。

しかし、花嫁は戻ってきました。なぜなら彼女はアルパでありオメガだったからです。偉大な彫刻家である神は彼を傑作にされました、なぜならそれは彼の最初の傑作の一片だからです。彼がエデンの園で作って、一片を取って、もう一つの作品を作ったように、それは傷つけられて墮落したのです、そして今、彼は今回もう一度立てておられるのです。そして、彼はこの傑作を生み出し、打たれた、それによって…打たれたその部分は、再びその傑作を復活させるためのものでした。

ですから、傑作と神の御子、傑作と花嫁、そしてそれは神の一部であり、それはみことばの成就でしかありえないのです。御言葉が成就し、我々は主の再臨の準備を整えているのです。

116 生きた神の教会よ、あなたの心とあなた自身を神の前でへりくだって頭を垂れましょう。これらの事は真実です。私はそのように聞こえることを知っています、そのように素晴らしいことは諸国全体に広がることでしょう。そんなことは決してありませんでした。神はご自身のやり方を変えられません。ただ感謝しなさい、教会よ、もしあなたがキリストにいるなら、あなたが今日いるところにいることに感謝しなさい。なぜなら、あなたは今、そしてそれを見る時に…

復活のために、すべての生命が麦の中に集められることを覚えておいてください。しかし茎は焼かれなければなりません。その残り；穀とすべては破壊されなければなりません、そしてそれは破壊されるのです。あなたの宗派の彼らに信頼しないでください。あなたは御言葉、いのち、神とその傑作に留まるのです。

さて、至福千年には何があるのでしょうか？至福千年の園に戻った、キリストと彼の花嫁。アーメン！  
彼を愛しています、彼を愛しています  
初めに彼が愛して下さったから  
そして私の救いを買って下さった  
カルバリーの木の上で。

117 彼がうたれたところ。「我々は彼がうたれ、神に苦しめられたゆえに彼を尊敬している。しかし彼はわれわれのとがのために傷つけられ、われわれの不義のために砕かれたのだ。」

今朝、その粒の内に入っていない人がここにいますか？そして、生命は今、穀から最後の部分を引き出しているのです、穀は乾燥しています。ペンテコステ派の教会が乾いていることを知っている人は何人くらいいますか？[会衆は「アーメン」と言います。— 編集。]それは何ですか？命はそれから離れているのです。率直に言って、それは離れました。その花嫁がすでにプレビュー中の場合、その花嫁は既に構成されてはいないのだろうかと思っています。[ブラナム兄弟がハミングを始めます、私は彼を愛しています。]

…彼を愛している、彼を愛している  
初めに彼が私を愛してくれたから  
そして私の救いを買って下さった  
カルバリーの木の上で。

118 今、私たちの頭は下げられています。ここで覚えておいて欲しい事がありますか？もしあなたがそうではないと感じたら…

友よ、それは明白過ぎるくらいです。私は自分の人生にビジョンを持ったことがありませんでした。「何かが起こってそれに従うまで私は真理を語ります。それ以外のときは、もし私が真理を語ったなら、神がそれを証明されました。そこで、今回も真理を語ります。

私たちがどの時代に生きているのかはわかりませんが、何も残っていないことはわかっています。このことを正すことができる政治家の台頭はあり得なかったのです。政治、その国は行ってしまったのです。神よ！あなたはそれを感じるのに十分なほど深く降りることができますか？国はなくなった。一か国ではなく諸国。これは最高の集まりは、無くなってしまいました。そして、もし国家がなくなったら、世界はなくなってしまいます。そして、教会は、私の意見では、ペンテコステ派は彼らが持っていた中で最高でしたが、それがなくなっています。

神よ、私たちを憐れんでください！

119 もし主を知らないなら急いでくださいあなたが命を感じたなら、あなたの罪から抜け出さなさい。あなたが今いるものから抜け出さなさい。すぐに粒に行きましょう。あなたは茎や穀で死ぬことになるでしょう。

今歌いながら祈りましょう。「私は彼を愛しています。」

それはあなた次第です。私たちは宗派も何も持っていません。私たちはキリストだけを持っています。あなたは彼が来られるまで、私たちと共に彼と一緒に礼拝することに歓迎します。私たちはあなたの名前を本に載せることはできません。私たちに本はありません。我々はあなたの名前が命の書にあって欲しいのです。あなたは誕生を通してのみそれを行うことができます。今それをしませんか？キリストに新しい命を求め、あなたを呼び入れ、あなたの名前を彼の書に書きなさい。そうでなければ、そのあと、我々の交流を持つようになります、是非いらしていただきたいです。「私は…」

120 親愛なる神様、今一人一人が我々が主の内に居るかを見るために、目録をとるのを助けて下さい。あなたは私たちを愛して下さい。あなたは私たちのために打たれました、そして私たちはあなたが打たれ、神に苦しめられたことを尊敬しました。神よ、あなたが全員を召命して下さいるようにと祈ります。主よ、私の子供たち、私の愛する人たち、私の友達にお話してください。主よ、イエス・キリストの御名によって、受け入れて下さい。

主よ、如何か誰も長く待たせ過ぎないでください。ひどく近く見えます。収穫は本当に熟しています。神の偉大な団結者がこの世を近いうちに掃き清め、麦わらがあらゆる方向に飛んでいくでしょう。しかし、麦は蔵に集められ、その命のゆえに上にあげられるのです。主よ、答えられるそれぞれの要求、あなたの前に現れる祈りを受け入れて下さい。

主よ、私は彼らのために祈ります。主よ、ここに居る誰も失われないようにして下さい。彼らは -彼らは -困難に陥っています。彼らは一彼ら一何百マイルも走ります。そして、私たちが必要とするものは何でも、それを私たちに与えてください。私達に良いものを、主よ、私たちの目に良いことではなく、あなたの目に良いことをです。私たちは、貞潔な処女として立ち、神から叱責され、追われ、罪から追放されることを望んでいます。そして私は彼らのために祈りを捧げます、主よ。

121 私一私一私は祈る方法がわかりません。私たちは全知全能の神と話しているのです。そして、どんな人間がそこにいますか、どんな死すべき人間が生きている神の前に正しいタイプの祈りをする事ができるでしょうか？しかし、主よ、私の誤った発音の言葉、そして私と私の名詞と代名詞は間違った場所にあります。ある日、ABCを小さな男の子のために選んで、文章を書くことができれば、私の名詞と代名詞を省いて、私が信じていることだけに目を向けることができます。主よ。

私はあなたを信じます。私はこの言葉を信じています。そして、私はここに居る一人一人を信じています。そして私は、信仰によって彼らを主の祭壇に連れて行きます。そこでは、私たちと偉大なるエホバとの間に、彼の息子イエスの血があるのです。そして、血が私たちのために語って下さるでしょう。あなたがカルバリーで彼を打ったとき、あなたは「話しなさい！」と言われました。「彼に聞きなさい！」「そして血は」と聖書に書かれています、「旧約聖書の子羊の血よりも大いなる、新しい契約の仲保者イエスキリスト、ならびに、アベルの血よりも力強く語るそそがれた血である。」そして主よ、著を通してと呼べる、我々のための証について、語って下さい。

122 偉大なる命の父よ、主よ、私たちを含めてください。もし私たち—もし私たちが罪を犯したなら、それを私たちから取り去ってください。主よ、私たちはそのようになりたいことはありません。それは私たちの意図ではありません。

そして、私たちはそのような恐ろしい、暗い道を生きていることに気づいています。最初に言ったように、私たちは険しい場所を通して山を歩いて登っているのです。薄暗い道ですが、私たちは光を持っています。私たちが今行っているように、一步一步見ていきましょう。天路歷程のように、私たちが出会うまで、ようやく丘の頂上に到着するわけです。羊飼ひ、如何か我々を導いてください。偉大なるエホバよ、御霊によって私たちを導いてください。

そして、私たちは傑作とは程遠いことを知っています。しかし、私たちはどこから来たのか、真の傑作を探しています。そして彼に信頼しています。主よ、ただ私たちを連れて行ってください。主よ、受け入れて下さい。

123 主よ、ここにいるすべての病人を癒してください。「私たちはイエスを打たれ痛みを受けたがゆえに尊敬しています。しかし、彼は私達のとがのゆえに傷ついたので。」神の傑作は打たれたのでした。「彼は我々の咎のゆえに傷つけられた。彼の打たれた傷によって我々は癒された。」病人を癒してください、主よ、あなたのご臨在の中で、あなたがここにいることを私たちは知っています。

すべての悪、すべての悪い考え、すべての邪悪なコミュニケーション、すべての悪いことから私たちの魂、心を清めてください。私たちを清めてください。そして父よ、私たちはあなたが私たちの病気を癒してくださいるように祈ります、そしてここを離れる時我々は清められた子供達と感じられますように。そして、私たちの上に血をもって、私たちは血を通してその御言葉について語ります。主よ。受け入れて下さい。イエス・キリストの御名によってお願いします。アーメン。

124 父なる神よ、これらのハンカチの上に、あなたのご臨在によって、主よ、それらに油を注いでください。彼らがどこへ行っても、あなたのご臨在が彼らと共にありますように。彼らがどんな病気が体の上に置かれたとしても、彼らが癒されますように。そして、何でもどこかに家庭崩壊している家族があれば、それを元に戻してください、偉大な彫刻家である、主よ。主よ。受け入れて下さい。

私たちを形作り、私たちを神の息子と娘にしてください。私たちが花嫁が最後の磨きをかけていると信じています。完全な組織から完全に取り除かれ、ともに大収穫がここに来るでしょう。それまで、主よ、あなたに仕えるために彼らを健康で幸せにさせて下さい。イエスの御名によって。アーメン。

私は彼を愛しています、私は…(あなたは本当に彼を愛していますか?)

彼がはじめに愛して下さったから

そして私の救いを買って下さった

カルバリーの木の上で

125 今、なぜ私があなたを叱るのか分かりますか?それは私があなたを愛しているからではありません。あなたを愛していないからでもありません。私はあなたを愛しています。主人のために傑作が欲しいのです。私はこのようにいくつかを引き裂かなければならないかもしれませんが、私がこの言葉でそれを正しく保つならば、私は近いうちに傑作を持つことになるでしょう。そうなのです。

さてイエスは言われました、「互に愛し合うならば、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての者が認めるであろう」(ヨハネによる福音書13:35参照:口語訳)私たちは互いに深く愛し合うべきなのです!

至福の絆を結ぶのです

クリスチャンの愛の中にある我々の心。

近い思いを持つ者の交流

上記のようなものです。

お互いの手を取りましょう。

我々が分かれる時

それは私たちに内面に痛みを与えます。

しかし、私たちはまだ心の中でつながっているのです

そしてまた会えることを望んでいるのです。

イエスの御名を取って行ってください。

悲哀と悲痛の子

喜びと安らぎがあなたに与えられます、

どこにでも持って行ってください。

尊いな、なんて優しい!

地の希望と天の喜び。

尊いな、なんて優しい!

地の希望と天の喜び。

さて、あなたの旅の中で覚えておいてください、:

イエスの御名を取って行ってください。

すべてのケアからの盾として;

誘惑があなたの周りにある時…(あなたはその時何をしますか?)…それから、ただ、祈りの中でその聖なる御名によって息すればいいのです。

オー尊いな、なんて優しい!

地の希望と天の喜び。

尊いな、なんて優しい!

地の希望 天の喜び。

また会う日まで!

頭を垂れて祈りましょう。ああ、私は歌うのが大好き！  
イエスの足元でまた会う日まで  
また会う日まで、また会う日まで、  
神はあなたと共におられます！



[www.messagehub.info](http://www.messagehub.info)

伝道者

ウィリアム・マリオン・ブランナム

"...第七の御使いが吹き鳴らそうとしているラッパの音が響くその日には..." 黙示録 10:7